アンタが消してなきゃ
アタシらが殺ってただ
人殺しにならずに
済んだよ

digital compositing:

デスレス

六道神士

DEATHLESS

Rikudou Koushi

YOUNG KING COMICS

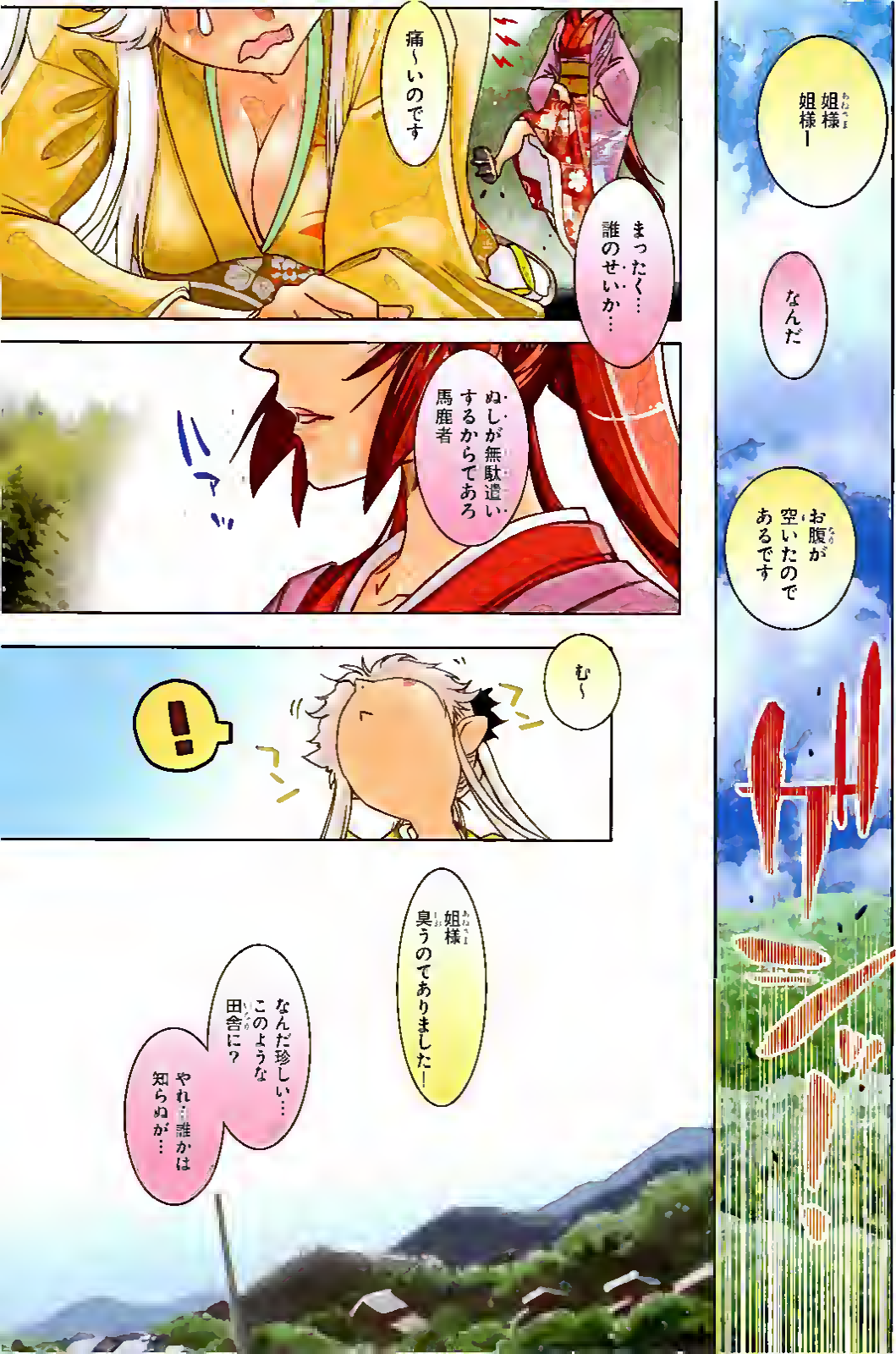
ISBN978-4-7859-3479-8
C9979 ¥562E
雑誌 50034-79
少年画報社
定価:本体562円+税

Miyuki, an princessy student girl met two suspicious-looking women, Suzuka and Komada. At that night, Miyuki was killed by an ordering of yakuza. But she was resurrected by Suzuka. They are undying beings: Deathless!

六道神士のコミックス

[エクセル♥サーガ] …… 1~25巻
[Holy Brownie] …… 全6巻
[デスレス] …… 1巻

…… 少年画報社刊 B6判 520~590円


姐様
姐様ー
なんだ
お腹が空いたのであるです
痛～いのです
まったく…誰のせいか…
ぬしが無駄遣いするからであろ馬鹿者
む～
姐様
臭うのでありましたー
なんだ珍しい…このような田舎に？
やれ…誰かは知らぬが…

第一話　気の毒なひと
気の毒にの

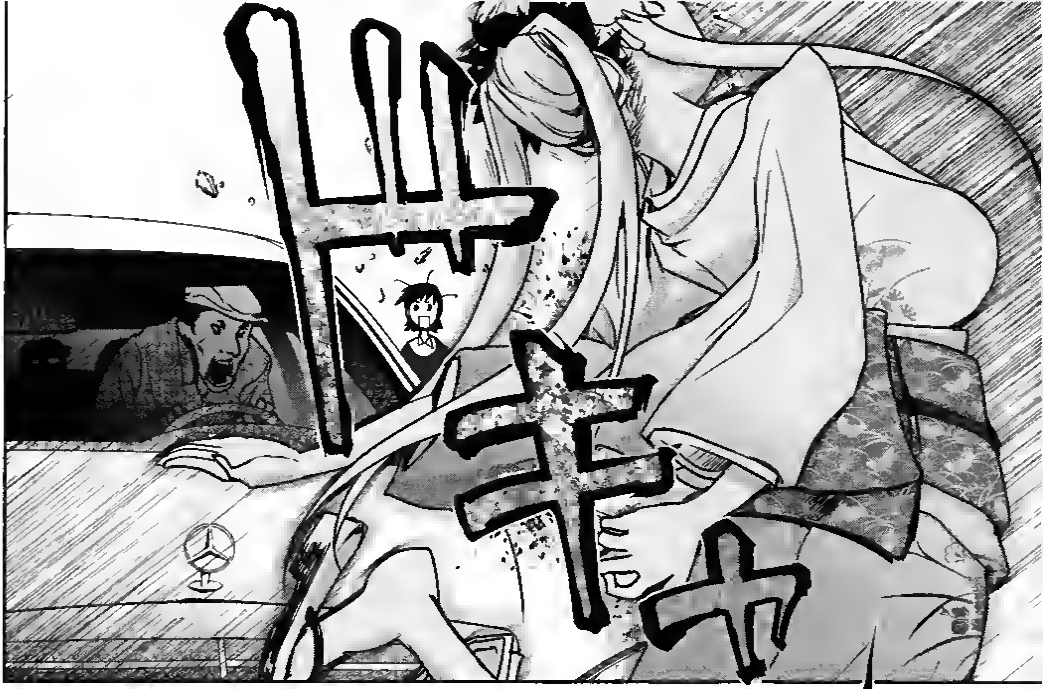
デスレス
DEATHLESS
1
六道神士
PRESENTED BY ROUSHI RIKUDOU

今日は朝から最低です
レポートの再提出くらって旅行に置いて行かれたうえに
よりによってひとりの時にしつこい客が―
―何か勘違いされているようですが
我々は地球の活性化の為にこちらの敷地を買い取りたいという方の代理人です
決して悪くない条件になっております
どうかご一考いただけませんか
ええと…祖母たちがいないとあたしにはなんとも…
お婆様方はおられない？
ええ…温泉に…
いいですねぇいや 優雅だ
なんだジジイ共はいねえのか
ですから あたしに言われても…
いえ…あなたでいいんです

宮森水城（みやのもりみずき）さん
現在 この土地の
所有者は
あなたなんですよ？
は？
ご存じない？
だからよ
お前が引き受けりゃ
俺達ゃ帰れるんだよ！
おめえんとこの
ジジイに
ボコられた傷
まだ痛むんだぞ
コラ
あれは
おばあちゃんを
突き飛ばしたり
するから…
なんだと
コラ！

見苦し
殿方二人で小娘に凄んでお楽しみの折ちと失礼する
こちらの家人に用があるのだがな
ヤレヤレ
吾は――
スザクと申す
は…
ヒク
ほんとにきれいなひとを――
あの…

うちに何か？
ほう…ぬしがここの家人かえ？
――はじめて見た気がする
るあらぁこっ腰が…
ヨロ
アニキ！こいつヤっちゃっていいすかアニキ！
やめろタカ
――どうやら
お客様のようですし一度失礼させていただきますいくぞ
チャッ
へっへいっ
昼食後また参りますよそれまでにお考えを
またって…困ります
だから何度来られてもここを売る気は――
チーン


ドカ

やふん
ボコ
キキ

俺ぁ…
オレなにも…
オロ
こいつが
飛び出して
きて……
オロ
オロ
そんな事より
早く救急車を！
救護義務です！

誰!?
事故!?
大変！
ハ!

おやおや
吾のツレに
なんという事を
姐さん…
痛いかもですぐ
ああ
なれど幸い
このツレは
鈍くて頑丈な上に
記憶力というものが
無くてのう
酷……
のう 旦那
ぬしのツレも
色々と
調べられるのは
困るのでは
ないかえ？
よいツレを
お持ちで
羨ましい
なんの
愚鈍なツレで
申し訳ない

どうすれば物覚えが悪くなれますかね
些細なことよ――
とりあえず今日一日――
ここに一切関わらぬこと――
……
それだけで？
嫌かの？
聞かない道理はありませんともお大事に
あっあのっ！
道交法七十…何条だっけ
運転は俺がする
旦月（たんげつ）アニキ…オレ……
事故は届け出の義務が……
ひき逃げになるんですよ！
ブオン

いてて…
ジジイ共といい
ヘンな女といい
面倒ばっかじゃ
ねえすか

だいたいなんで
こんな辺鄙なトコに
コナかけんすか

何考えてんすかね
周りに土地なんか
いくらでも——

スポンサーに
意見とは
勇ましいな
タカ

おめぇハッパは
やめたんじゃ
なかったのか

ヘッ？

いやほんの
少し……

すいやせん
あいつも
ほんとに急に
飛び出して
来たんで…

すんませんっス
すんませッした！
アニキ

タカ

シートベルト

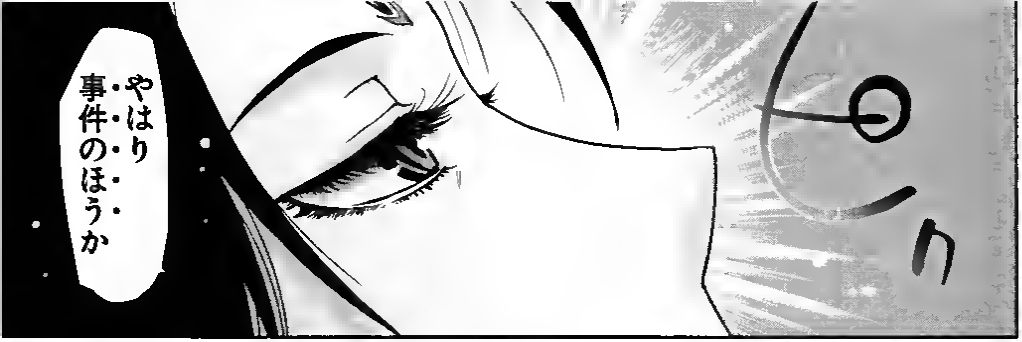
もうよいぞ
カマド
はいでんす
わっ？

だ…大丈夫…
なんですか？
すっごい音
してましたけど…
心配ないで
あるのです
体柔(やわ)こいの
ですし

？
この人も――
なんて
綺麗――
娘
娘
はっはい？

こちらの住まいには ぬしひとりか？
いえ… 祖父母が…
今日は いませんけど…
あ…だから お婆ちゃん達に 用なら明日には——
いや…… ぬしひとりなら よいのだ
今日はもう あれらも 来るまい
余生を大事にな
どうも… あのひとたち しつこいんで… 実際 助かりました …あの…
私 宮森水城って いいます
スザクに——
カマドだ
源氏名？ 延寿お爺ちゃん またヘンな 飲み屋に 通ってるのかな
お婆ちゃん達に 伝えておきます
あーあ……

ぜーんぜん
レポート
進まないし
スザクに
カマド――
派手なひとたち
だったなー
モノが
違うかんじ…
あんな風に
キレイだったら…
絶対
普通の人生
送れなさそ
地味が
一番
ん…？
いやいや
リ～～ン
リン…


やはり
事件のほうか

若く病も無ければ…
まあそういう事で
あろうな
なんか
アブラ臭いで
あるですよ

下手人が
おりましたら
よいであるすか？
すきに
しやれ

クソッ
あいつらのせいで
面子ガタガタじゃ
ねぇか
冗談じゃねえ！

約束なんか知るか
クソジジイ共が
いねえ間が
チャンスじゃねえか

オレの手柄に
しねえと…
マジ旦月アニキに
殺されちまう！
あの…

見つかってる時点で
台無しなんですけど…

ちくしょう！
気が付きやがったか！
こんだけ
灯油臭けりゃ
そりゃ…
えっと
刑法百…何条
だっけ
現住建造物等放火は
懲役5年以上
死刑アリで
キビしいですよ
こんな土地と
引き替えは
割に合わない
んじゃ…
バカに
しやがって…
いえ…
だから帰って
もらえれば…
ひけらかしやがって…
見下してんだろ
お前もよ！
学が
あるからってよ！
オオオオレを！
酩酊しておるな…
薬物か
食いで
なさそうで
あるですなー
まず……

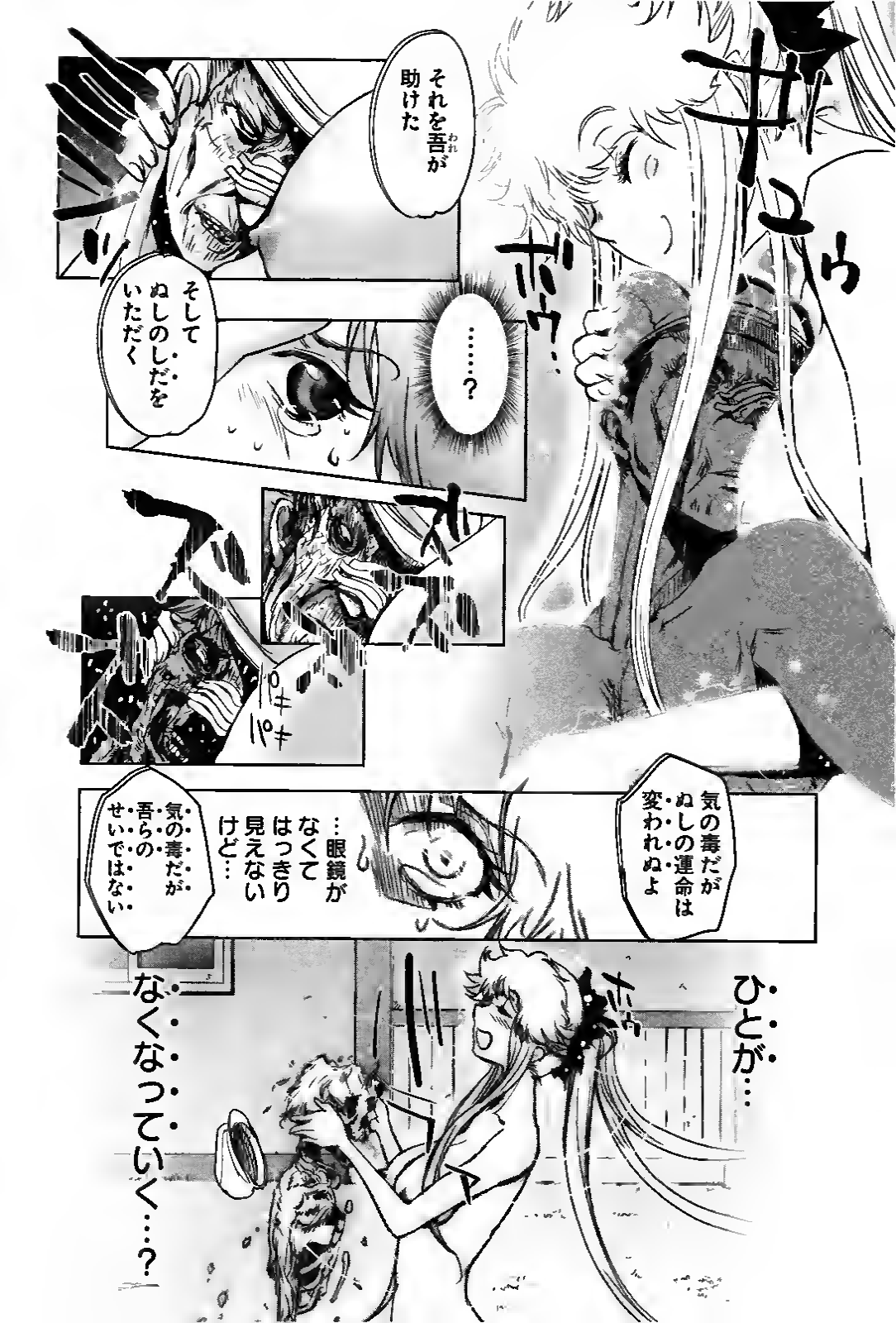
尋問・恐喝の
典型的手口
仮想敵と
味方役を演出する
一種のマインド
コントロール
憎まれ役
演じてる人だと
思ってたのに…
本物の
あぶない人だ
武器を持った
相手には
えっと…
得物を狙う?
頭を狙う?
武蔵(ムサシ)おじいちゃん
なんて
言ってたっけ
ドクン
あ……
思い出した…

「警察に――
電話する」…
だよね
ドン
よし！
誰か――
よしとか…
言った…
……

は…
目覚めたか…
気の毒な
…？
昼間の…
ひと…
あれ…
あたし…
たしか
刺されて！…
安心せよ
傷は無い
え？
ほんと…
痛くない…
よかった…
刺されて
なかっ…

確かに
刺されたとも
あの…
助けてくれたのは
お礼言いますけど
なんで脱がされて——
あっ あたし
そういう趣味
無いですッ
最初が
アブノーマルとか
嫌——!
ほう…
生娘(きむすめ)で
あったか
熟々(つくづく)
気の毒だが

すぐに終わるゆえ我慢せい
大きく触れておらんと面倒でのう
ぬしのしだをもらうにはな
しだ？
しだって何？
我慢ってなに？
どんなマニアックな初体験…
ぬしは今日終わったのだ
やだ…この人達なにしてるの？
ああもう今日は○○○いばっかり！


ひとが…
なくなっていく…？
気の毒だが
ぬしの運命は
変われぬよ
…眼鏡が
なくて
はっきり
見えない
けど…
気の毒だが
吾らの
せいではない
そして
ぬしのしだを
いただく
……？
それを吾が
助けた
ボウ…
ボウ…
ボウ…

時を
今終わるはずの
ぬしを救ったのは
吾だ
なれば
お前が老いて終わるまでの
時過ぐ全ては吾のもの――
ドクン
怖い…
この人がじゃなくて…
ドクン
怖いことが起こる…!
ドクン
いや…

怖い！
怖い！
ドン
ドン
怖い！
怖い！
こんなの
ドカ

いやっ！
ぬ？
!?
待て待てい！
何だこれは！
逆に吾を…！
怖い…
助けて！

Z
Z
ぶる？

はふ…
食いでが無いですねの
ごちそうさまでしたり―
ピク

あれ？…
何も……起こってない？
もう…
怖くない…

あれは夢で…
あたしは変質者に襲われたみたいな…
ピク
ふん…騙されたわ

地味な態をして大したタマだ…危うい所であった
変質者！
なっ…
これ以上関わっておれん去るぞカマド！
あいです！
襲っといてなんて言い草！
姐…
カマド…よくも間違えたね
今代にもこのような輩が残っておったとは
変態に怪しげ呼ばわりされたくないわよ！

あやうく喰われるところだったではないか！
そんな趣味無いです！
もうわけわかんない…出て行って下さい！

言われずともこのような縄張りに長居なぞできぬわ！
行くぞカマド！
えーと…
姐様…その…

刺されたり犯されそうになったりなんて日！
お風呂入り直さないともう…服どこ？

羽織はどこだ
ええい体が重い！

姐さま～

久々に
食べ甲斐のある
時過だと思うたが
こやつ…
平垣のくせに
とんでもない
タマだわ
あはは
はは
処女とか
つるぺたとか
悪かったわね！
女同士じゃ
強姦罪には
ならないけど
強制わいせつは
アリですからね！
あの～
スザク姐さ…
笑うておらんで
さっさと着物を
持ってこぬか！
最初から
ここの森は
なにやら
重苦しいと
思って…
あ？

何これ！
これは…
体が勝手に…？
ええい勝手にならぬ！
きゃっ
落ち着くのだ
同感
これは幻聴と幻覚全部夢
あたしそんな趣味あるのかなあ
欲求不満なのかな
それは逃避だ
あたしの中になんかいる！
キャー
いやぁ！あたし痛い人みたい！
中の人とか
こちらの台詞だな
どうやら捕らわれたのは吾だ
オロオロ

これ ぬし殿よ
水城(ミズキ)です！
ミズキ殿が
何者かも存ぜず
地味な容姿(なり)で
格を見損なった
非礼は
詫びよう
だから
どうか吾(われ)を
解放して
もらえまいか
そんなキモ
失礼に
詫びられた！
どうせ
地味だもん！
なんか
わかんないけど
地味で結構よ！
は～…
お願いだから
元に戻して！
!?
何？
何？
どうだ
カマド
どっちも
ダメなのでした～
ふむう
ミズキ殿は
本当に自覚が
無いようだ

原因がわからぬ事にはどうにもならんなこれは
しばらくはこの有様も止む無しかむ……？
修造魂！
諦める雰囲気にならないでお願いだから！
明日にはおじいちゃん達が帰って来るのに…
危うし！
?!!
え？屋根？
なに？あたし…
おのれ賊が！出来おるわ！
？
うそ……
なんで急に…

腕も刀も錆びてんじゃないか
カッコ悪ー
外したー
いやっかまっしい！
怪しげな女賊共！
ここを我が家と知っての狼藉か！
返答如何に依らず斬る！
あ
カワイイ
殺すんじゃないよ
この人の話を聞かぬ気満々の干物共はなんだ？
おじいちゃん達…
いや依ろうよ
なんで？…
帰ってくるの明日って…
あ
跳んだ
「おじいちゃん」？
賊の分際で馴れ馴れしい！
とにかく斬る！
ガキン
ガキン
いや待っておじいちゃん！
話を聞いて――！
最低の日の始まりでした
第一話／完

宮森木城

デスレス

DEATHLESS

悪夢の一夜が明けました
チュン
チュン
チュン
?!
なんで裸で寝てるのあたし！
ええと眼鏡…
眼鏡は…
――でも…

第二話 騒がしいひと

X高周波
何？
なにがどうなってるの？
ラーメン
ラーメン
昨晩は確か…！
待って！
待ってってば武蔵おじいちゃん！
いやっかまし！
馴れ馴れしく呼ぶなと言っておろうがこの曲者（くせもの）が！

銃刀法違反！
銃砲刀剣類所持等取締法違反だって！
えーと二百…何十条？
傷害罪は懲役15年以下か罰金……！
もう完全に未遂超えてるって！
なんで謝っているようであるですか？
嬢さんお名前は？
あカマドというですよ
ボク正寿キミ美人って言われない？
それに過失致死——じゃないし！
こんな殺る気満々じゃ絶対殺人罪！
メジャーな199条は死刑アリだから！
やめて武蔵お爺ちゃん！
あたしミズキだってば！
ウソは死んで言え曲者めが！

あたコれた
ウチのミズキの
鈍臭っプリは
宇宙大会級じゃい！
斯様な
身のこなし
弥勒が来るまで
待っても
ムリじゃっ！
ドンッ
酷っ…
ぬっ……
ど……
どんくさく
ないもん！
語るに
落ちおったな
曲者！
ぱぱぱ
七歳まで
寝小便たれとった
ミズキにワシの
剣を白刃取り
できてたまるか！

ヒュン
ヒュン
ヒュン
名誉毀損って死刑でよかったっけ…
五十まであだ
おわ――っ
ワシを本気にさせ――
うむ…激しく殺意が湧いておるが……
殺してよいのか？
いいけどよくない！
ぬうう！筑後の逸品が！
おのれ怪性め！

いい加減にしな
ビクッ
ビクン
パン
パン
ミズキ
ミカサ
お婆ちゃん？……
ミズキ
なんだね？
お婆ちゃん…
わかって…
くれるの…？
まあ 様変わりしちまって…
う……
エッ エッ
耄碌しおったなババア！
そいつのどこがミズキに見えるんじゃ！
黙んな 刃物オタク
バカ
バカ
ヘッ
自分の孫娘の見分けもつかないド老眼なんざくり抜いて銀紙でも貼っとくんだね！
婆ちゃんだけ…
ミカサ
お婆ちゃんだけわかってくれた…
ヒック
ヒック
当たり前じゃないかね
フン

怪しいヤツがいるから斬っちゃえってけしかけたのは誰だっけー
黙んな
いつまで素っ裸の孫娘をほっとくつもりだい！
男どもはさっさと家に入ってフロでもお沸かし！
はいよー
ホウ…
なるほど…
アタシらが居ない間にそんな事がねえ…
そっちのカマドさん…かい？
はいでございます
その…ミズキに取り憑いた…スザクさんと直に話はできないもんかね？
判らないのであるです
可能であろ
え？
ミズキ殿に「許す」と言うてもらえればの
……

ええと…
「許す」けど
どうやっ…
チャ…
スザクと
申しまする
御祖母殿

成る程…
別人だね
即刻
ミズキから
出て行け！
いかねば
斬…！
ズッ
ズッ
振り出しに
戻すんじゃないよ
骨董品
出て行ければ
とうに
そうしておる
…どういう
意味だい
吾はいまや
ミズキ殿から
出て行きたくとも
出て行けぬ
このとおり
ミズキ殿の協力
なくしては
会話も出来ぬ
有様
捕らわれたのは
吾の方だと
いうことよ
そんな…
元に戻す
方法は？
さて
居直りおったな
物の怪が！
原因そのものが
わかりませぬでな
吾にも皆目…
…朕の悪い
爺い共で
悪いね
イキッ
御祖父殿の
反応の方が
自然であろ
吾にもわからぬ
この有様を
御祖母殿はよく
信用できるのう

アタシャあ
これでも
巫女の血筋でね
今じゃあ
人様よりちょいと
気配を読める
程度だが…
孫の気配くらい
間違えやしないよ
あんた達から
さほどの
禍々しさも
感じないしね
ほう…？
…やはり
この地所は
「神域」で
あったか…
道理で
圧迫感がある
神社だったのは
明治の頃までの
話さ
知らなかった…
ともあれ…
大事なことを
聞いとこうかい
スザクさんや
スピ
スピ
温泉まん
あんた達や
一体何だい

吾が何かなど
吾も知らぬ
物心のつく頃には
もうしだを
食らっておった
しだ？
之太よ…
ひとが咲いて
散るまでの
時過ぐる一時…
ふん…万葉か
浮船かい？
…有り体に
申さば——
寿命だか歳月だか…
盛りなる一時を他から
いただいてこの身を
永らえておるものさ
はあん…？
歳月ってな
ぶっちゃけ
命そのものと
言っていいさね
その命を食らって
生きてるって事は
何かい？
吸血鬼みたいな
もんかい？

さあ……
吾(われ)が決めても
仕方なき事…
あ――っ
スゥ
ミズキかい？
忘れてた！
こんな
場合じゃないよ
おばあちゃん！
人が死んでるの！
通報しなきゃ！
死んだって…
さっき聞いた
最近よく来る
チンピラの
ボンだろ
ミズキを
刺したって
いう……
じゃ
死んで当然
じゃないか
だね
へOw
怒るのは判るけど
死体を
ほっとくわけにも
いかないでしょ！

さっき見たけど死体なんて無いよ？
え？
ほら裏口
ね？つまんない
ちぇ
何撮りにいったんだか…
変態が
崩れちゃったんだ…
骨になって！粉々になって…
死体損壊？死体遺棄？
じゃなくて…時を…
食べ…られた？
あたしも…食べられてたかもしれないって…
スザクさんや
化け物……
何だミカサ殿？
ピシ
遅くなったが礼を言わしてもらうよ
ペタ

そんな…
お婆ちゃん！
あたし
殺されそうに…
そうじゃ！
ババア
血迷ったか！
あんた達
なに聞いて
たんだい
キル
この人たちがいなきゃ
アタシらがのほほんと
温泉に行ってる間に
ミズキは死んでたって
事なんだよ
それは…
わからぬな…
吾はそれを
傍観した
この有様も
助けようとしての
結果ではない
ス…
聞いての通り
人の時を食らい消して
しまう事など
造作もない存在ぞ
ああそりゃ
問題ないね
アンタが
消してなきゃ
アタシらが
殺ってたさ
人殺しに
ならずに
済んだよ
ああ
その礼も
しなきゃね
嘘を言っている
目ではないぞ？
ご祖母殿…
何者だ？
ムゥ…
あたしもたまに
わかんない…
さあ
とりあえず
明日だ！
今日はもう
休むよ！
ハン！

記憶
ここまで
あれから
いったい
何が……
あ…
眼鏡が無くても
見える…
フチどりがない
視界で鮮明に
見ちゃった…
ん…
おお…
ミズキ殿
お目覚めか
ア…
人ん中で
器用に
寝ないでよ!
どー
なってるの!
なんとなく
聞きたくないけど
ここどこ!
知らぬのか?
ミズキ殿の家の
近所だが…
HOTEL
ラマン
連れ込み宿の
ようなモノであろ
誰が行くんだろ…
近所の…!
あれか――!

人が寝てる間に
一体何したの！
それに…
ベッドの…
ズ〜ザクちゃ〜ん
ゴトン
おはよー
ゴーン
きゃ——っ
もう…
今更だなァ
ヘッヘッヘッ
ベッドでは
あんなに
激しかったのに〜
でもそういう
初々しいのも
いいねえ

うわあああ
なんで!
どうして
こんな…
?
?
ちと
試してみようと
思うたのだ
この態でも
時が喰らえるか
否か——
行きずりに
丁度いいのが
人気の無い所に
連れて行って
くれたでのう
安心せい
問題なく
時は食らえたさ
礼に少々
楽しませて——
ヒッ
ヒッ
行きずり?
知らない
男と…!
あ……
あんまりよ…
ミズキ殿?
ゼェッ
ゼェッ
あんまりだって
言ってるのよ!

この淫乱！
あたしが許さないと勝手にできないんじゃなかったの!?
うむ その通りであるが
「許し」が下りたまま特に禁じられもしなかったのでな
フ…
そんな…
だからって…！
じゃ…じゃあ約束して！
勝手にこんなこと…
エッ…
エッ…
他人のその…時を食べないって！
ふむ…「約束」か
やむを得ぬな

エルル
何を…したの？
約束だからな
あの男から
いただいた
時を返したのだ
ついでに中身も
吾らと
出会う前まで
巻き戻しておいた
どういう…
？
？
何も無かった事に
なっただけさね
イミわかんないけど
…覚えて
ないって事？
はは…
こっちはそんな訳に
いくか——
ひっどい
ロスト
バージン…
約束を
守ったのに
なぜ泣く？
？
ホタ
知らない
行きずりの相手に
処女捧げて
落ち込まないわけ
ないでしょう！
おお
そんなことか
「そんなこと」って…

安心しやれ
何もさせては
おらぬよ
……え
ス…

時を頂くために
肌を合わせて
少々気持ちよく
してやっただけだ
ふむ…
具体的には――

さして吾の
好みでも
なかったしのう
じゃあ…

――という
程度の手管――
フフン
もういい…
生々しい…

色々
初体験には
変わんないし…
い
い
手…

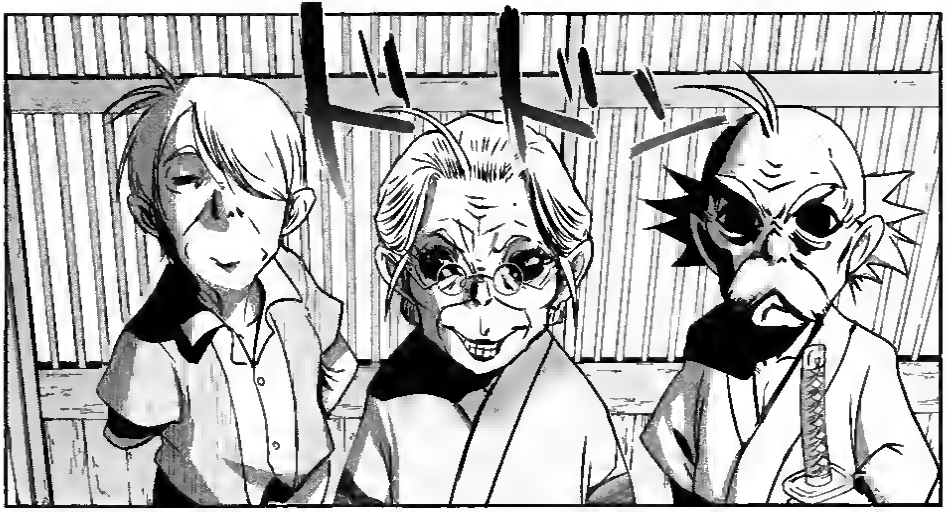
…ねえ！
何か
しだって
返せるものなの？

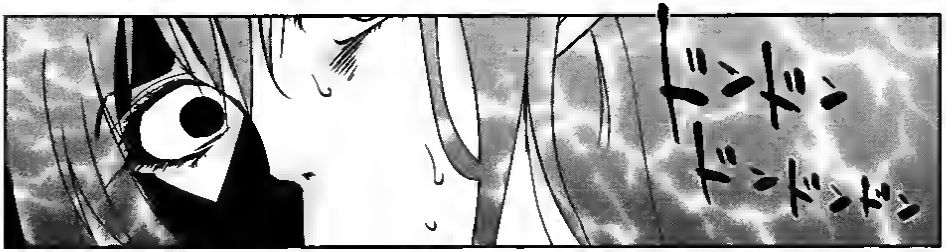
当たり前であろ
ガッ
じゃあ
昨日の人も――
あれはもう無理だ
あそこまで
消えて終うとな
トボ
トボ
大問題だー

自分を
殺した相手に
情けとは…
熟々平和だのう
世の中には
法律ってもんが
あるの！

ふん…
時を食って
消してしまうのは
法の罪では
なんというのだ
うわあ…
人外に法律で
突っ込まれた…
あの人にだって
多分 親や兄弟が
いるんだし…
法律以前に
人として――
ミズキ！

ゴゴゴゴゴゴ
うわ
朝帰りなんて初めてだもん 心配かけたから当然よ…
怒っているようだが？
ただいま…
門限10時てな朝のことじゃないんだよ！
はい… 心配かけて…
昨日の今日さ 心配して当たり前だろ 一体どこ行ってたんだい
いやミカサ殿これは吾の我が儘での
ちと殿御と連れ込み宿に――
バカっ！
その… お婆ちゃん違…




ドンドン
ドンドンドン

ゆっくり
聞かせて
もらおうかい
チキッ
記念ー

この後
家族会議
白熱
最低の日
記録更新中——
あ
ストップ

第二話／完

デスレス

DEATHLESS

うん…そう
まだ風邪が
治んなくって
ん…それは
大丈夫だけど…
うん…うん
もう少し
かかりそうなの…
え……
民法の
馬場教授が？
追加
レポートって…
酷……
前のレポートも
まだ…
え？
いやほんと
それどころじゃ
なくって――
――うんお願い…
みんなにも
心配ないって
伝えといて…
なんだ
ミズキ殿は
学生で
あったのか
まあね…

なにゆえ
学校に行かぬのだ
学問のみに邁進
できるというのは
今代にても
恵まれた
身分なのであろ？
スザクが
言うなー！
キック

第3話　悩むひと

あ…違う違う
スザクさんに言ったの！

あたしミズキだから…
ごめん武蔵お爺ちゃん
ね？
ガラッ

慣れない暮らし——
緊張感のある暮らし——
武蔵お爺ちゃんはピリピリしっぱなし——
あたしにも実感ないのにすぐ慣れるのは難しいだろうけどさ…
ミシャッ
姉様——
カパーン

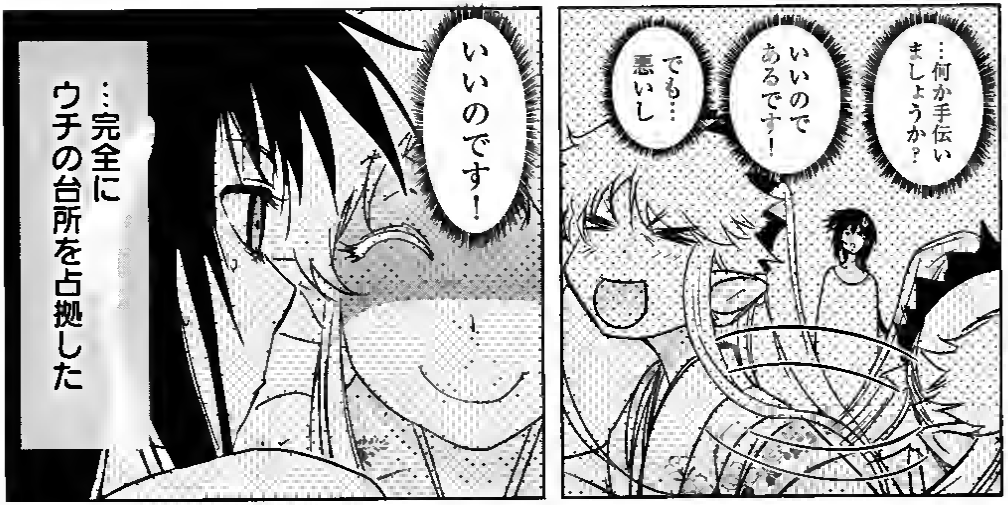
皆様もー
カパン
ご飯でございましてありまーす♪
カパーン
カパン
カパン

それ以外は
なんでこんなに
馴染んでるんだろ――
お待たせで
あるです！
任せきりで
悪いね
カマドさんや
大好きなので
気にしては
ないでありませ！

はい！
姐様！
うむ
あ…
うん…

ボヤ
メッシ
メッシ

カマドさんは――
台所を見るなり
家事を手伝うと言い出して…
あっはれ
ご飯を
作るので
あるです！
ギュッ

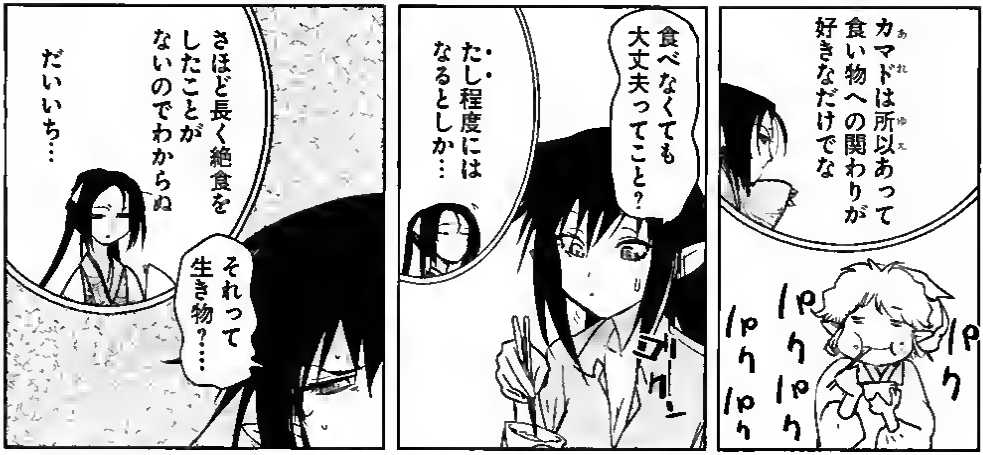

…何か手伝いましょうか？
いいのであるです！
でも…悪いし
いいのです！
…完全にウチの台所を占拠した

ほんと美味しいなー
沢山お食べてくださいな
ミカサが作ると大雑把だしミズキのは薄味で地味でさー
そんなに盛らんでよいわ！
地味でいいもん
手出しさせてもらえないのが納得できるくらい美味しいのはいいんだけど…

さすがに太りそう…
ゴク…
吾らに普通の食い物はさして意味が無いゆえ安心せい

そんなにお腹も減らないのにたべちゃうんだよね…
二人分てこと？

姐様お代わりであるですね！


カマドは所以あって食い物への関わりが好きなだけでな
食べなくても大丈夫ってこと？
たし程度にはなるとしか…
それって生き物？…
さほど長く絶食をしたことがないのでわからぬ
だいいち…

ミズキ殿は滋養のみの為に食事をしておるのかえ？
まあ…そりゃ…
スザクさん達は——
意外と自分たちの事を知らない……

——というより興味が無いみたい
それでお婆ちゃん…何かわかった？
——とりあえず この神社の事から調べてんだけどね
倉庫をひっくり返して古い資料を漁ったんだがなかなか不思議な事がわかったよ
ゴリ…

不思議なくらい
なんにも
わからない

倉庫に残ってたのは
アタシのひい爺さんの
小遣い帳だの
下らないもんばっかしさ
縁起も神体も
氏神についても
不自然なくらいまるで
記載が残っちゃいない

官庁や自治体にも
ここに神社が
あったなんて
記録自体
残ってないねー
個人の研究者とか
蒐集家(コレクター)も
あたってみるけど…
難しいかもねー

要は
手がかり無しと
いうことか？
そう…
ミカサお婆ちゃんも
延寿お爺ちゃんも
あたしを
元に戻す為に…
色々調べてくれてる…
草書とか
読めない
楷書
パソコン
つかえない
そんな中
今のあたしは基本
役立たずで——
まあ…まだ
色々とツテは
あるけどねえ
ていうことは…
ギク…
ズ…
正直時間が
かかりそうでね
てなわけで
ミズキ——
スザクさんも
年今のうに
ツテなし

しばらく
その有様で
普通に暮らす
覚悟をしな
世話を
かけておるのは
承知…
吾に何の文句が
あろう
ガーンッ
ええと…
そんなこと
言われても…
アンタの
悪い癖だよ
現実を見な
ミズキ
目を逸らしたい！
まずは服を
なんとかしな
年頃の娘が
下着もつけないで
つんつるてんの格好
してんじゃないよ！
だって全部
サイズが…

じゃあさっさと買っといで！
春休みにバイトしてたろ
あれ免許資金…
どこかまだその体を自分じゃないと思ってんだろ
アンタがその体を自分の体だって思わなくてどうすんだい
自覚が無いからだらしない格好しても平気なんて幼稚な娘に育てた覚えはないよ
僕が見立ててあげよーか？
ミズキ殿の衣服の感覚に関しては吾も少々もの申したい
こっちも!?
四面楚歌!
上布とは言わぬが絵羽の趣味のよいものを——
和服は却下よ！
大学もいつまでも休んでるわけにゃいかないだろ
え？
この格好どう説明すれば…
整形したって言い張る
ムカ
ムカ
ムカ
ええいよってたかってなんじゃ！
じゃあミズキが悪いとでも…
ピンポーン

おはようございます
これは
ご壮健そうで
なにより
ご機嫌麗しくとは
いかないようで
おう！ワシゃ
機嫌が悪いんじゃ！
ケガしとう
なかったら
疾く去れい！

ミズキさんは
ご在宅でしょうか
しつこくワシらを
追い回しとったと
思えば今度は
ミズキに何の用じゃ！
ウチに火を
つけるだけでは
飽きたら――
「火」？…
何のお話で
ミズキに
なにか用かい？

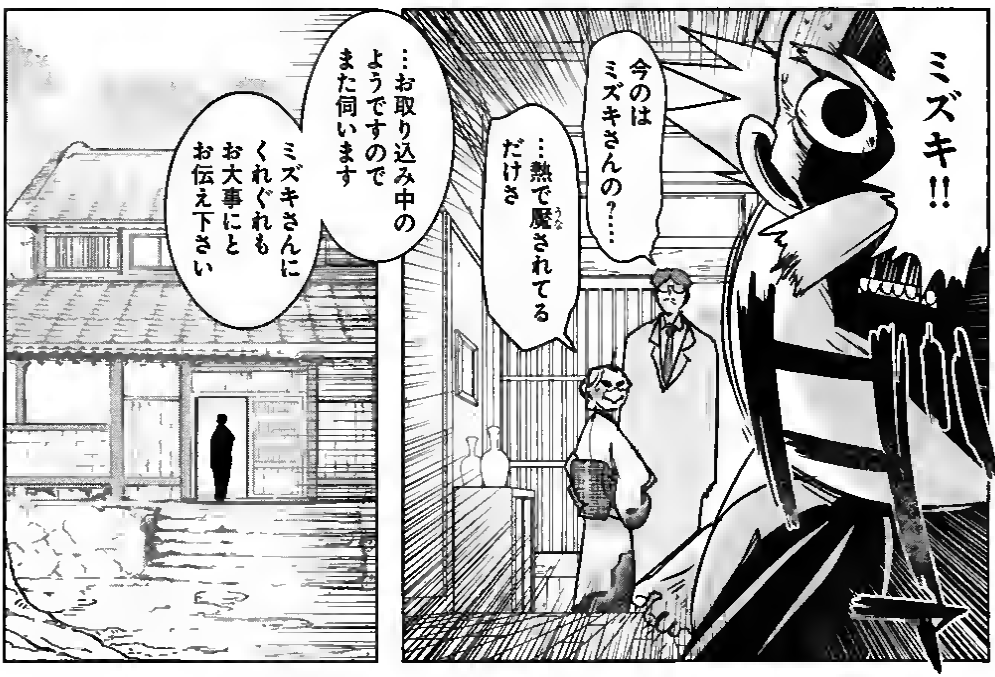
あの子は
風邪をひいて
休んでるよ
それは
お大事に
こっちの問題も
あるんだった…
ああ カマドが
食らったやつの
片割れか
些細な
問題だと
思うが…
人一人
消えることが
些細な社会じゃ
ないの！

いえ
後見人の皆さんからも
お勧めいただくよう
ご相談したいんですがね
…ふん
嗅ぎつけるのが
早いこった

そうだ…
この土地の所有者が
あたしになってるって
どういうこと――
御不調であれば
仕方有りませんね

ここ数日
日参を欠かして
失礼しました
ペコ
色々と騒ぎが
ありまして…
ああそうだ
永遠に
来んでええわい！
ガッ
伺いたいことが
あったんです
先日からいつも一緒に
伺っているウチの
助手が行方不明に
なっていまして
キッ
顔をご存じな方々に
姿を見なかったか
聞いて回って
いるのですが——
どちらかで
見かけませんでしたで
しょうか
姉様ー♪
トテ♪トテ
お昼は
何がいいので
ありま…む——
しばらく
大人しくしてて！
ガバッ
あんたが
食べちゃった人の
話してるのよ
これ以上
ややこしく
しないで！
身内の問題で
恐縮ですが…
ちっ…チンピラの
顔なんざ
いちいち
覚えとらんわ！
トドド
……？
フッ
フッ

そりゃ
心配だろう
もし
見かけたら
連絡くらい
してやるさ
ご親切
痛み入り…
あぁ
あぁ
あぁ


ミズキ!!
今のは
ミズキさんの?…
…熱で魘されてる
だけさ
…お取り込み中の
ようですので
また伺います
ミズキさんに
くれぐれも
お大事にと
お伝え下さい

なんの騒！……
ホ
ホ
ホ

ミズキ？
おねえちゃん
こっ
ミズっ…
これは
どういう
事じゃ！
黙れ
武蔵！
お姿ちゃん…
あたし…
消えてる…
ヒック
ミズキ！
スザクさんと
代わりな！
ヒック。
う…うん
スッ
「許す」
ポス。
ミカサ殿…
よき判断に
礼を…
あとにしな！

アンタにゃ何が起こってるか判ってるようだ
どうすりゃいいんだい？
うむ…
カマド
来やれ
あいはいー
キュッ
ミカサ殿とりあえず人払いを願おう
ミズキ殿が見られるのを望んでおらぬ
アワアワ
なにー？
…そういうことかい…
ほら！出てくよ！
ミズキが…
延寿！カメラぶっ壊されたいかい！
ズレ
ズレ
ズレ

助かっ…
……
ぴー
ぴー

まさか…
それで――
何が起こったんじゃいったい！
聞かせてもらえないかね
何と言われてものう…
吾らがどういうものかは話したであろうに
時を食べるとかって？
そういう妖怪なんじゃろうが！
人とて味わう為だけに食事をするわけではないのであろ？
！

人は食わねば
どうな…
それ以上
言わないで！
そういう
ことかい…
そうだ…
時を食まねば
吾らは消える

まだ
些細な問題が
気になるか？
…？
…あんた
何勝ち誇っ
てんの？
メがンテだし
「最低の日」
記録更新止まらず

第三話／完

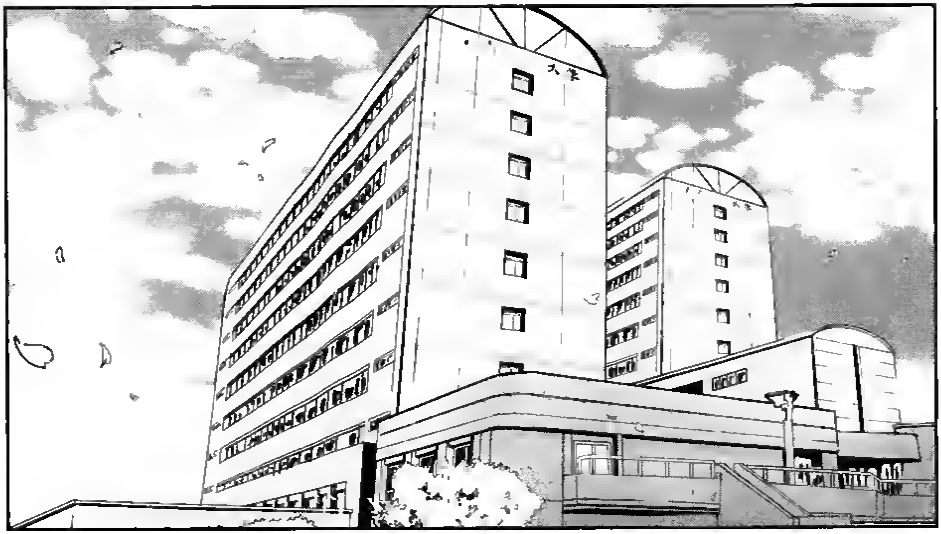
メガンテってのはね
てや
「みずきはくだけちったレ?!

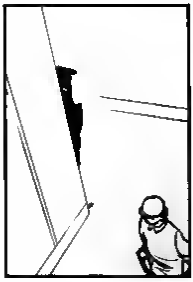
デスレス

DEATHLESS

水城です
食べないと消えちゃうって…
なんで消えかかるまで言わないのよ！
なんか人から時とか吸わないと消えちゃう体になっちゃったみたいで大変です
他人を勝手に食うなと言ったのはミズキ殿であろう
吾は約束を守ったまでだ
せまい
だいたいミズキ殿が時の無駄使いをするからだ
そんなもの使ってないし…
だいたい消えるって…
消えたらどうなるの？
さて…
さすがに完全に消えたことはないのでな…
ミズキ殿は人間が死んだらどうなるのか知っておるのかえ？
つまり…
…消えたくなかったら人殺しをしろってこと？
死なぬ程度につまみ食いする事も可能だがの
ゾク

第4話 学校のひと





…何るぎあ
そりっどだ
何故俯く
背筋を伸ばしやれ
頼むから…
黙って…
スザクと話してると
ハタから見たら
独りごと言ってる
ようにしか
見えないし
世間に何ぞ
引け目でも
あるのかえ？
あんまり
人に見られたく
ないの！

まさか
見目の事を
言うておるのか？

我が姿に
何の引け目が
あろうか

コン

……

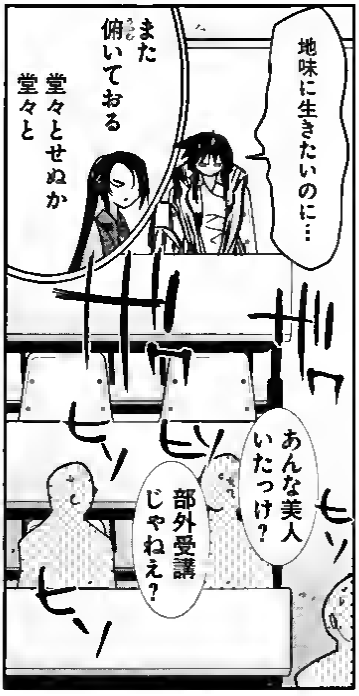
思っただけで
会話できるとか
ないわけ？

互い
思うところを
だだ漏れに
せずに済んで
幸せよの

カード出席登録の
授業はまだ
問題ない方だと…

思ったのに…

植物の心みたいに
平穏にとまでは
言わないけど――

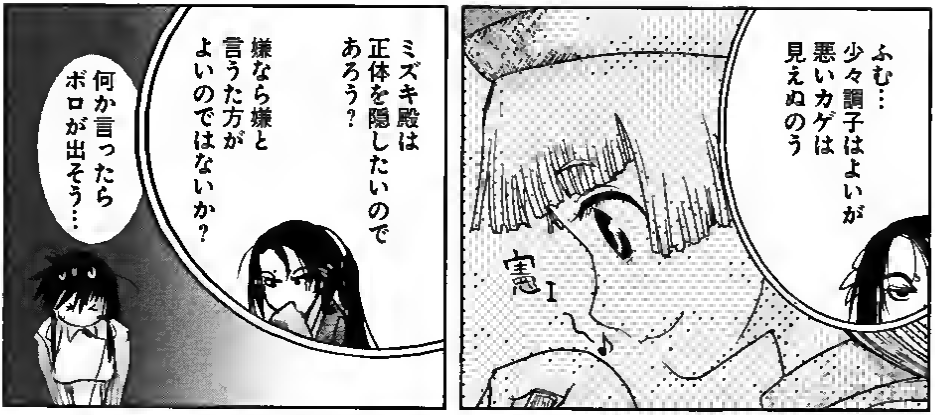

地味に生きたいのに…
また
俯いておる
堂々とせぬか
堂々と
あんな美人
いたっけ？
部外受講
じゃねえ？

皆が注いで
おるのは
羨望の眼ぞ
吾とて決して
不愉快ではない
宮森水城たって
バレたら
元に戻ったとき
説明できない
じゃない

まだ
そんな先の事を
思い煩(わずら)っておるのか？
もっと
差し迫った問題が――
美人(シャン)だ！
ドクン
ドクン
美人(シャン)がいる！
なぜ シャン…
ドイツ語？
ドクン
ドクン
また…

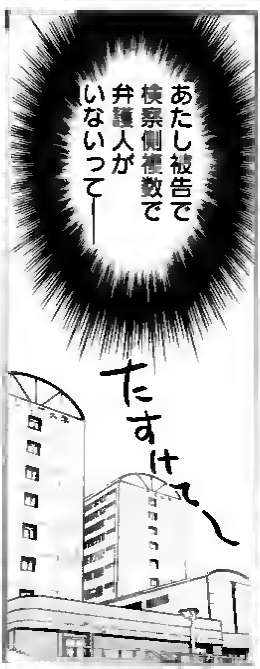
見たことない
ハクいスケが
いるぜ！
それは
江戸時代の
盗賊用語だろう
「スケ」が
わからないな
くるな
くるな
どうした
ミズキ殿？
無視
無視
私 松川！
ヨロシク！
あなた
何学部？
名前は？
法学部じゃ
ないよな！
えぇと…
ポロリ
スザクって
いいます…
…？
よいのか？
うわー
ミズキそっくり
声が
…もしや
知り合いか？

ほら
いきなり馴れ馴れしく
するからびっくり
されたじゃないか
友人が失礼しました
私は大町といいます
松川は
あなたの声が
私達の友人の
宮森水城に
よく似ていると
感想を述べた
だけで他意は
ないのです
はあ…
だよね
松川は
凶暴な小動物ですが
人付き合いの
距離感が壊れている
だけですので
どうか気にしないで
下さい
大町ー
それフォロー
してなーい
知ってる…
うん
?
いえ…
気にして
ませんから…
ブルブル
そんなわけで
隣いいよね
え?
ヒソヒソ


ふむ…
少々調子はよいが
悪いカゲは
見えぬのう
憲I
ミズキ殿は
正体を隠したいので
あろう？
嫌なら嫌と
言うた方が
よいのではないか？
何か言ったら
ボロが出そう…

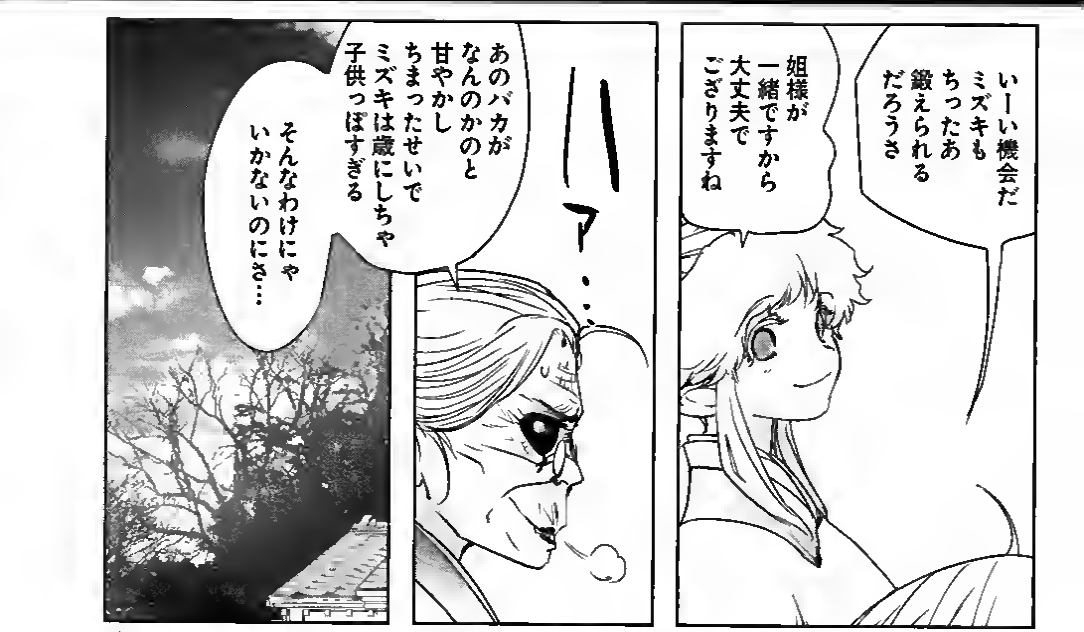
ふむ…
思うて
おったが
ミズキ殿は…
今ひとつこう…
なんというか

主体性というか
覇気というか
自己主張というか
自信というか…
ん〜
最近
いじりがいのある
オモチャが病欠
してて退屈でさー
あーさっき
言ってた水城って
地味なコ
なんだけどね
ヒイイ


あたし被告で
検察側証数で
弁護人が
いないって——
たすけて〜

イライラ
ムキ
ムキ
ムキ
ムキ
ムキ
武蔵様は
お腹が空いて
おられましょうか？
ミズキが
心配なんだろうさ
ほっときな
イッ
学校にいく程度で
テンパって…
幼稚園児じゃ
ないんだまったく…

こないだ
ミズキが消えかけた
時も……
吸えい！
ワシのを吸え
ミズキ！
遠慮はいらんぞ！
ウウウウ
枯れてもこの
宮森武蔵！
少々の寿命を
吸われたくらいでは
びくともせんわ！
落ち着きな
申し出は
ありがたいが…
条件に合わぬ
僕ら枯れて
るってさ
そういう訳では
ないのだが…

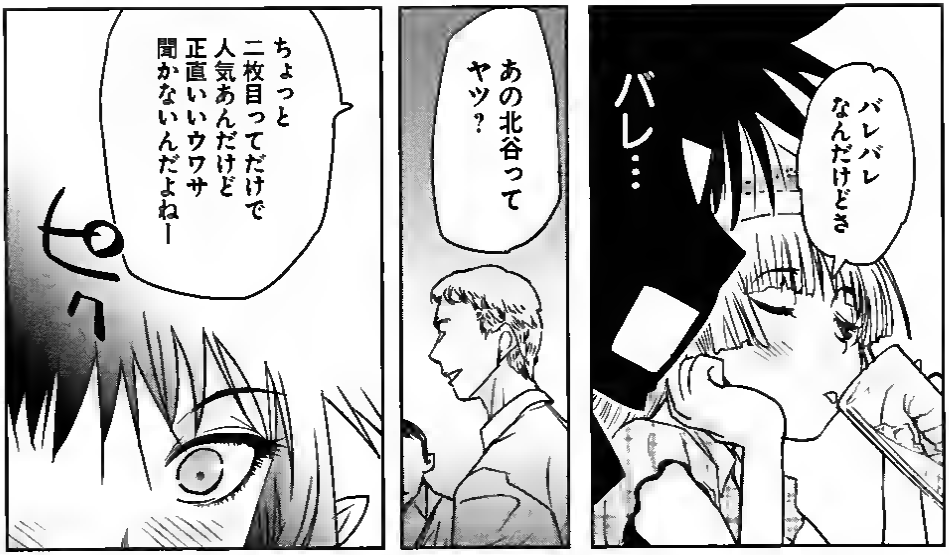

いーい機会だ
ミズキも
ちったあ
鍛えられる
だろうさ
姐様が
一緒ですから
大丈夫で
ございますね
ハァ…
あのバカが
なんのかのと
甘やかし
ちまったせいで
ミズキは歳にしちゃ
子供っぽすぎる
そんなわけにゃ
いかないのにさ…

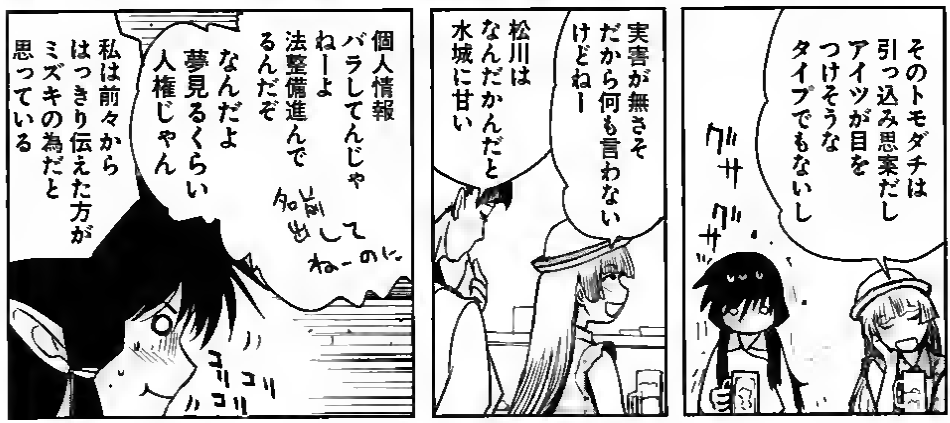
もつ焼

あたしなんで
ここにいるんだろう
カンパーイ
と言われても

ミオ部は
8人前
ナンで
ナンは
ニャッ

マッテタゾー
ごめんねー
テキトーな
飲みがあったから
誘ったんだけど
ロクなのいなくて
ガタ
あー
うぅん
がらずー
で学部は…
どこ住んでんの
役シいんのか
私はねー
それからー
はぅ…
同じではないか
嘘が増えるばかりだな
わかってる…
セェッ
セェ…
あ……
北谷君…
北谷君も来てたんだ…
おまたー
あー
北谷も来てんだー
酒が不味くなるなー
ヨッ
いやねトモダチがアイツの事好きみたいなんだけどさー

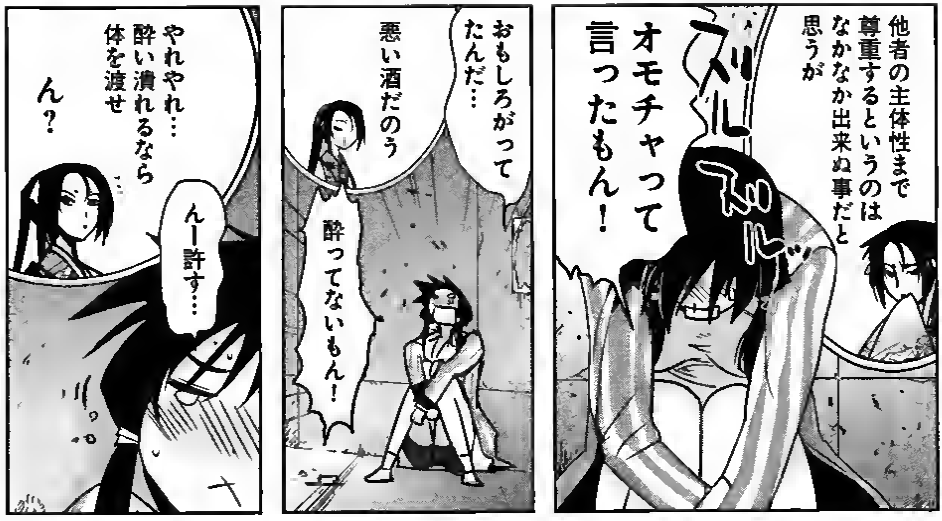

バレバレなんだけどさ
バレ…
あの北谷ってヤツ？
ちょっと二枚目ってだけで人気あんだけど正直いいウワサ聞かないんだよねー


そのトモダチは引っ込み思案だしアイツが目をつけそうなタイプでもないし
グサッ
実害が無さそだから何も言わないけどねー
松川はなんだかんだと水城に甘い
個人情報バラしてんじゃねーよ法整備進んでるんだぞ
なんだよ夢見るくらい人権じゃん
私は前々からはっきり伝えた方がミズキの為だと思っている

スザクはモテんだろー
…そんな事…
呼び捨てとな…
まあさっきのオトコ共の反応が答えだねー
お
北谷がこっち見てる見てるスーちゃんが気になるのねー
スーちゃん…

安心して
アイツも
私の事苦手
みたいだから
近寄ってこないし
なんか…
ミズキ殿？
色々
ショックだ…
もしや
酒豪なのか？
ごめんなさい…
ちょっと
用事があって
お先に…

なかなか面白い学友がいるのう
松川…
あたし…あんな事思われて…
ミズキ殿の事を慮っておったのう
勝手な事…
そうか？


他者の主体性まで尊重するというのはなかなか出来ぬ事だと思うが
スルー
オモチャって言ったもん！
おもしろがってたんだ…
悪い酒だのう
酔ってないもん！
やれやれ…酔い潰れるなら体を渡せ
ん？
んー許す…

はえ？
!?

スザクさん
？
北谷君？
なんであたし…
君から誘ってくれて嬉しいよ
え？
「君から」ってまさか…
違う…
待って！
待っ…
…？

何…これ
止まって…？

スザク！
何したの！
やっておるのは
ミズキ殿ぞ

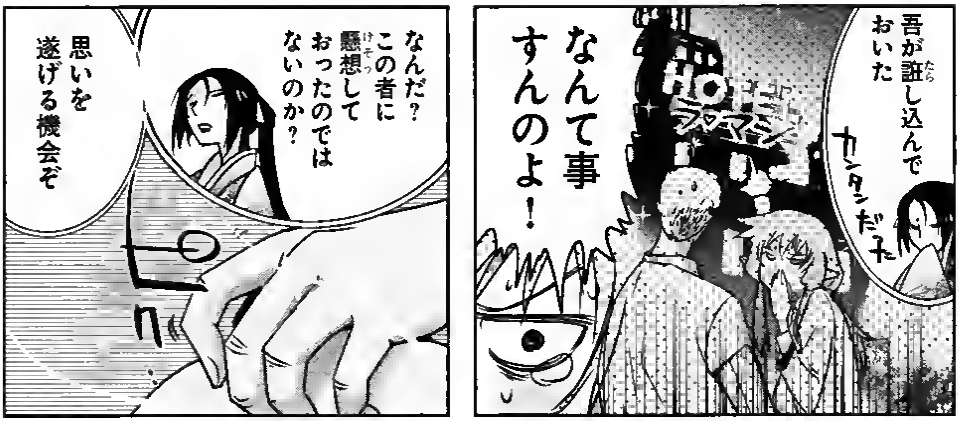
あたし？
やれやれ…
また時の
無駄遣いだな…

武蔵殿と
立ち会うた時にも
やっておったでは
ないか
え？
判らずに
使って
おったのか

周りが
ゆっくりに
見えて…
吾らの方が
速くなって
おるのだ

いやぇっと…
これって…
あ…あたしなんで
こんなところに
いるの！
またホテル？！

それに
きっ北谷君まで
アワ
アワ
ミズキ殿が
酔い潰れて
しまった所へ
この男が
現われたのでな


吾が誑し込んでおいた
カンタンだった
なんて事すんのよ！
なんだ？この者に懸想しておったのではないのか？
思いを遂げる機会ぞ

学友に腹を立てるほどこの者が好きだったのであろう？
君ハーフか何か？
すごく綺麗だ…
あ
え

これは…
あたしじゃ…
ん…

クラスのやつらなんかと全然雰囲気が違うよ
オキ…
どうして嬉しくないの——

そういえば松川と一緒にいたみたいだけど…

あんまり彼女に近寄らない方がいいよ
レズだって噂だし
君はストレートだよね
……？
待ちやれ！ミズキ殿
なんでこんなに腹が立つの——
？
嬉しくないどころか——

…何したの？
あたしが？……
吾は何もしておらぬ

まさか…
殺し…
いや…食べたのは
ほんの少しだ…
荒っぽく
やったので
気が飛んでいる
だけであろう
あ…
キミ…
…あたしが
欲しかったのは
あんな言葉じゃなくて
松川は確かに
ヘンだけど
あんな言い方…
あたし…
腹が立って…
こんな事で…
ビク
友人を
侮辱される事は
「こんな事」か？
そうじゃないけど
こんな――
過失傷害？
違う――
食べようとしたんだ
いろいろな事の腹いせに
あ・た・し・が
ﾌﾝﾌﾝ

真面目に言うておるのだこんな所で腹を空かせてものを考えるものではないぞ

腹が減った帰ろうぞ

判ったミズキ殿

ゼンゼン！

こんなの殺人未遂よ…

その日あたしは——

自分が大事なものを失った気がして——

飲んで午前様なぞ10年早い

わーいバッ掃除！

ごはんあるぞよ

まあわかればいいんじゃ！

スーちゃんさーマジミズキそっくりじゃね？ヘタレっぽいとこ見た目あのスペックで中身アレって激レアだよ

おもれえ

なぁデカっ！

松川…

君…小動物を可愛がり殺す前の幼児の目をしているぞ

んでツブれんの
いつもオマエな

デスレス

DEATHLESS

やめて！
違う！
ズ
ズ
ズズ
そんなに
楽しそうに…
あたしじゃない！
食べてない！…
気持ちいい…
満たされる…
嫌だ……
気持ち
よくなんて……
痛っ？

夢――
なんて生々しい――
ガッタリ…
生(ナマ)――?
ハァハァ…
第5話 惹き寄せるひと
ムニュ…
夢…じゃ…
?

ゴゴゴゴゴ

誰!?
誰!?

ていうか…
あたし…
まさか?…
うむ
無意識で
食べておったぞ

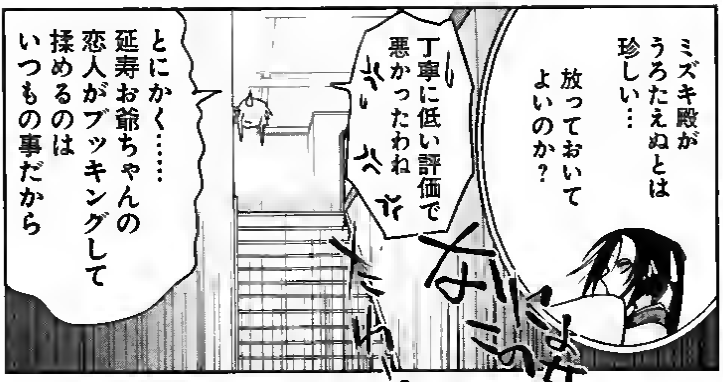
あわわわ
返さなきゃ
スザク!
ミズキ殿が
食べた時は
ミズキ殿しか
返せぬ
ムニャ

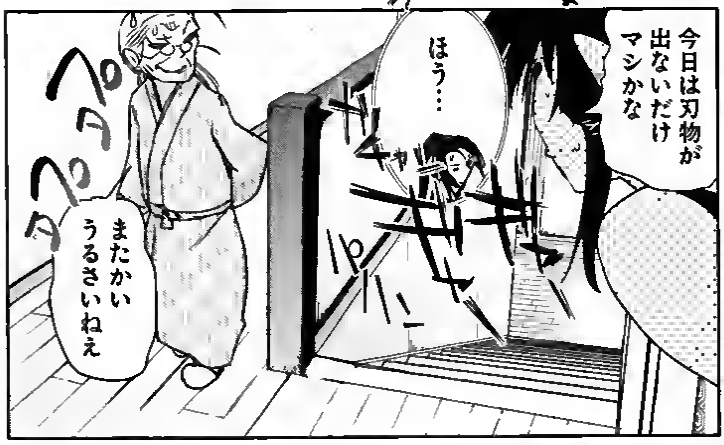
……
えーと…
どうやるの?
……瞬きの
方法を問われて
説明するのと
同じくらいに
難しいのう…
寝起きに

延寿（エージュ）！
あンた…誰？
ここ延寿の部屋じゃァないのッ？
なんだ…
…お爺ちゃんに用事ですか？…
あら失礼お孫さン？聞いてたのと随分違うわ
あたしったら…ごめんなさいね
延寿の部屋はどこ？
階段下の右の…

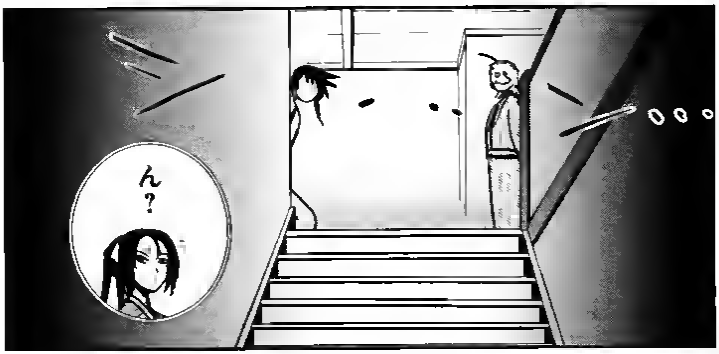
あれだけ元気ならば大丈夫であろ
住居侵入罪…
また痛そーな人だなー
「また」？知り合いか？
うんにゃ
あれは延寿殿の縁者か？
ううん？多分「女のひと」
こないだ延寿おじいちゃんが部屋替わってくれたから間違えたんだと思う
「女のひと」とは……？
「情人」とか「愛人」という意味合いに聞こえたのだが？
間違って夜這いかけられたのは初めてだけど…
いきなり押しかけてくるのはいつもの事だし…
延寿！

隣のおンなは…
だれ？
カマドで
あるですよ♪


ミズキ殿が
うろたえぬとは
珍しい…
放っておいて
よいのか？
丁寧に低い評価で
悪かったわね
とにかく……
延寿お爺ちゃんの
恋人がブッキングして
揉めるのは
いつもの事だから


今日は刃物が
出ないだけ
マシかな
ほう…
またかい
うるさいねえ

ミズキの件が
あったから
ここんとこ
大人しかったん
だけどね
カマドはともかく
延寿殿に危険は
ないのか？
心配したことも
あったけど……


ん？

お…
ほお…
いっっっつも
このオチだから
心配するだけ
バカバカしくって
はー
なんというか
たいしたものだな
コロ…
カマド
無事かえ？
はいですよ

ひっかかれたり
しまされたのです～
なぜこのような時分に
延寿殿の部屋になぞ
ゲームというのは
楽しいのですで
ございますよ
さりげなく
化け物だなあ
いやっかましい！
夜更けになんじゃ！
またお前か
延寿！
春先の
猫みたいな
真似は他所で
やれい！
あ…
はーい
しゅてきま！

今更だけど
延寿お爺ちゃんて
なんでモテるの？

アタシにも
さっぱり
わかんないね

ヘンな
フェロモンでも
漏れてんじゃ
ないのかい？

こないだの
温泉旅行の時も
旅館の店子が
あのバカを取り合って
刃傷沙汰になりかけて
追い出されたさね

おかみさーん

小娘ガー

なんで夜中に
いきなり
帰ってきたのかと
思えば……

これでも
昔よりゃ随分
マシになったさ

今より
ひどかったの？

最近は人死にが
出てないからね

……

色恋沙汰の
話よね？

大変！

朝からなんだい
寝不足さ
ゆっ 郵便受けに！
こんなのが！

誘拐…
だよね？…

「怖いひとの女に手出しちゃいました」
「慰謝料3千万円で許してくれるって」
だとさ

ゼ

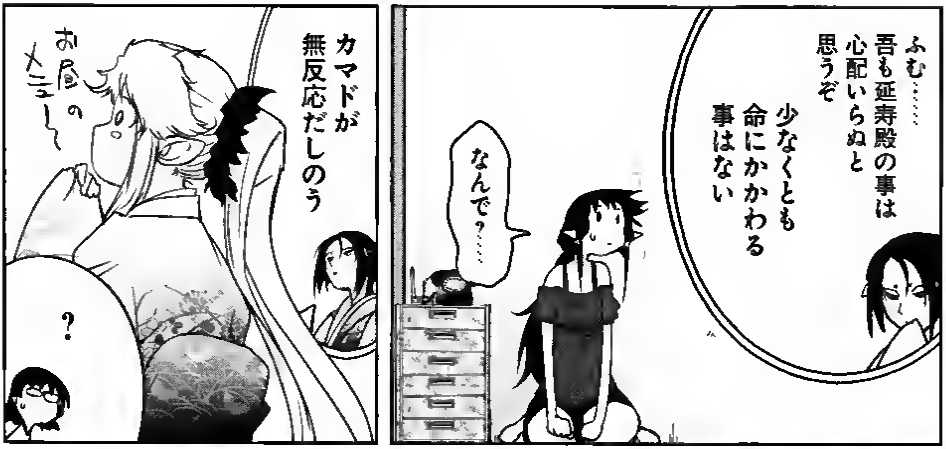
めでたいね
穀潰(ゴクツブ)しが
一人減ったよ
物置部屋が
増えたわい
ちょっ！
ちょっと待って！

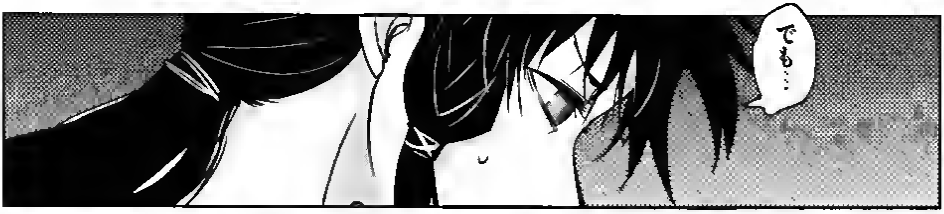
これって恋愛絡みの
レベル超えてるよ！
延寿お爺ちゃん
本気で危ないんじゃ
ないの？
ミズキ……
そっちが刑事事件！

アンタは
あのバカの事を
わかってない

武蔵(アンタ)が教えない
からさ まったく
あんな
不謹慎なヤツの事を
詳しく説明できるか！

この程度の事が
今まで無かったと
思うかい？
アタシゃ
掠(かす)った連中に
同情するね
……どういうこと？
放っとけって
ことじゃ


ふむ……
吾も延寿殿の事は
心配いらぬと
思うぞ
少なくとも
命にかかわる
事はない
なんで？……
カマドが
無反応だしのう
お昼の
メニュー
？


でも…

アニキの女に
手ぇだすなんて
ふてえジジイだ！
おいおい年寄りに
粋がったって
男は上がらねえぜ

酷い事
しないで！
うるせえ！売女が
イカれやがって
ふん…
こんな枯れ木の
どこがいいんだか…

安心しろや
これでも年寄りは
敬うタチでな
落とし前は金で
つけさせてやる
騒がしいね
取り込み中かい

跳ね回ってる
ようじゃないか
こっこれは
姐御！

本家のオヤジは
お元気で…
今日は
どのような
ご用でしょう
なんだい
この人は

いや……
あっしのイロに
手を出した
ヤツでして
…大の男がよってたかって
年寄りをふんじばるのは
格好いいもんじゃないね

へぇ……
スジを通せば
丁重に
返しますんで
何をするつもりだ？
ミズキ殿
延寿お爺ちゃんを
連れ戻しに行く
ほう…？
話し合いが
通じる相手
なのか？
あたし……今
強いんだよね？…
……

まあ ただの人間相手ならどうにでもなろうが…
延寿お爺ちゃんを助ける為だから…
嘘…だ…
警察に通報するのが先なのに…
あたし……この体で暴れたいって思ってる…
監禁場所は判っておるのか？
スザクならなんとかなると思って
……
カマドならなんとかなろうが…
なんというか粗忽者の多い家だの……
もう！こんな時に…
はいもしもし？宮森ですけ――

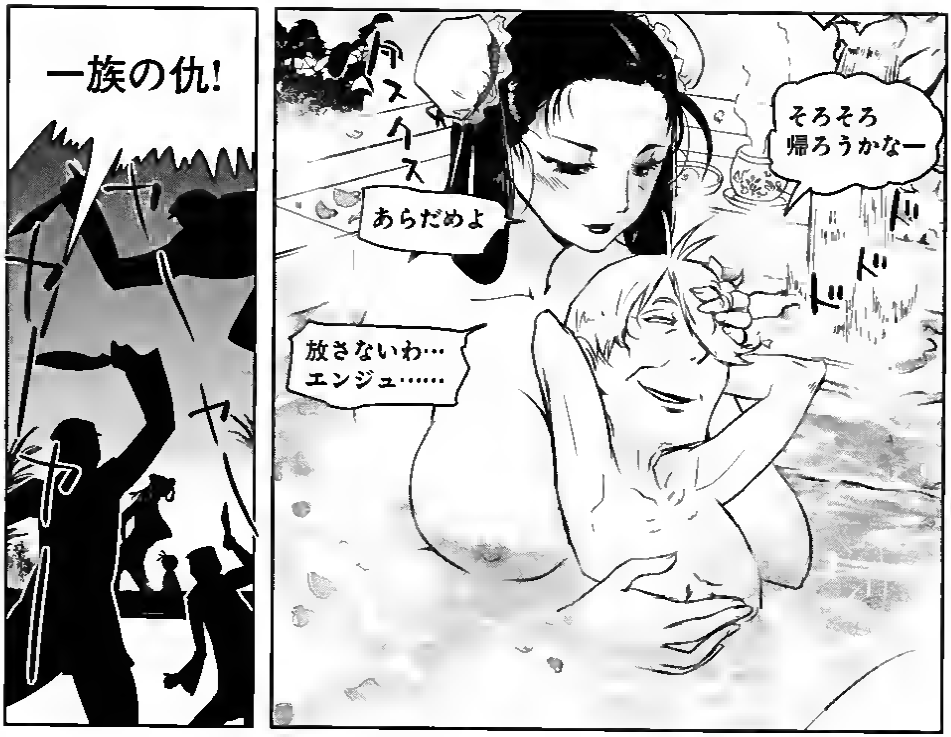
延寿おじいちゃん？
あー
ミズキ？
あら
いい人？
妬くわよ？
愛しの孫娘さ

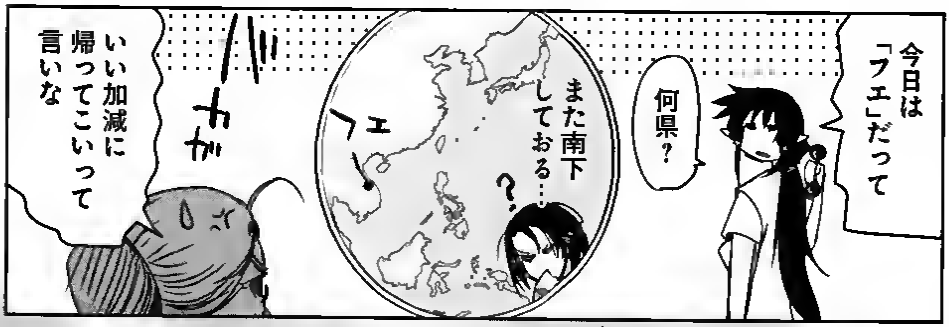
いやあの
晩ご飯は
いらないとか
そういうんじゃ
なくて！
捕まって
たんじゃ
なかったの？
親切な人が
助けて
くれたって？
やっぱり……
たく…
延寿お爺ちゃん
今ど！……
ゴゴゴゴ
切れた…
ね…最後に
聞こえたのって…
銃声のように
聞こえたがな
？
まさかね…

この男は…
待て!
キョロ
組織のボスと身内は処分した!
こいつは?
すーあ
上級構成員か?
敵組織の人間と逃亡?
アアア
同志から裏切り者が!
ちょっとお爺ちゃん昨日は一体
今どこだって?

マカオ？
冗談
言ってないで
無事なら
帰って来て
ヤクザの家で
ガス爆発
だってさ
ニュースでした
フン
おおかた
内輪もめ
じゃろ
じゃねー
どこに…
電話を？
うん
定時連絡さ
フフ……
あなたって
何者なのかしら

今
ハノイ？
どこそれ
南下しとるのう
なんでだ
ハノイ
マカオ
「はのい」って
温泉地か何か？
今日もごはん
いらないのね？
なんか
女の人の
声しなかった？
どこだって？
お婆ちゃんの
言った通りだ…
なんか
すっごく
心配したのが
心底バカバカしく
なってきた
人様に
迷惑かけてなきゃ
いいんだけどね
アイツぁ
最悪の
サゲチン
だからね
サゲチン？
何が
最悪って……
延寿（アイツ）と付き合って
不幸になった連中が
全員幸せそうな
ツラしてんのが
恐ろしいのさ
教祖にでも
なれば
よかった
ものを


一族の仇!
そろそろ帰ろうかなー
あらだめよ
放さないわ…エンジュ……


今日は「フエ」だって
何県?
また南下しておる…
?
フエ
いい加減に帰ってこいって言いな
ガガ

ただいまー

ハハハ
——てなかんじで
なかなか帰れなくってさー
やっぱ我が家が
一番だねー
ナイナイ
マフィアと
大富豪と
スパイ組織って…
みんな
良い子
だったん
だけどね
はい
土産は？
こいつが言うなら
本当なんだろうよ
無事で済むわけ
ないじゃない…
いゃあ
だからさ
ウ…
疫病神ってな
本人にゃ災厄は
降りかからない
もんなのさ
ゴゴゴ

えっと…
随分時間をムダにしちゃった気がする…
レポートが…
……
思うにミカサ殿…
スザクさんかい
延寿殿のあれは巫者の血筋が関係しておるのではないか
ミカサ殿と同じ――
だとしても
今の世の中じゃただの疫病神さ
だからああいうバカはここにいたほうがいいんだよ
成る程…
この聖域は結界でもあるわけか…

吾がミズキ殿に取り込まれたのも……
もしやこの場所が問題なのか？
あぁぁぁ

なあミズキ殿――
その女はたれぇぇ

あーミズキたすけ…
イヤッ
レポートの邪魔だから静かにヤって？
この女ぁぁ

よいのか？
金輪際延寿お爺ちゃんの心配はしないって決めたから
そんなことよりレポート
ガキャー

第五話／完

スン
れぽーとはどうした

デスレス

DEATHLESS

第6話　手遅れなひと

なんてとこで寝こけてんだいだらしない！
へ？
へ？
はえ？
さっさと降りてきな！
あ…うん
？
……
なんであたしこんなとこで寝てんの？
……む
おはようミズキ殿

ポーン
朝から
また…

なんで
屋根なんかで
寝てたんだろ
スザク
何かした？
トテテテ
吾は
ミズキ殿の
許しなしには
何もできぬよ
あの石のサイズは…

すいませーん
ドーン

警察の者ですがー
ズズズ

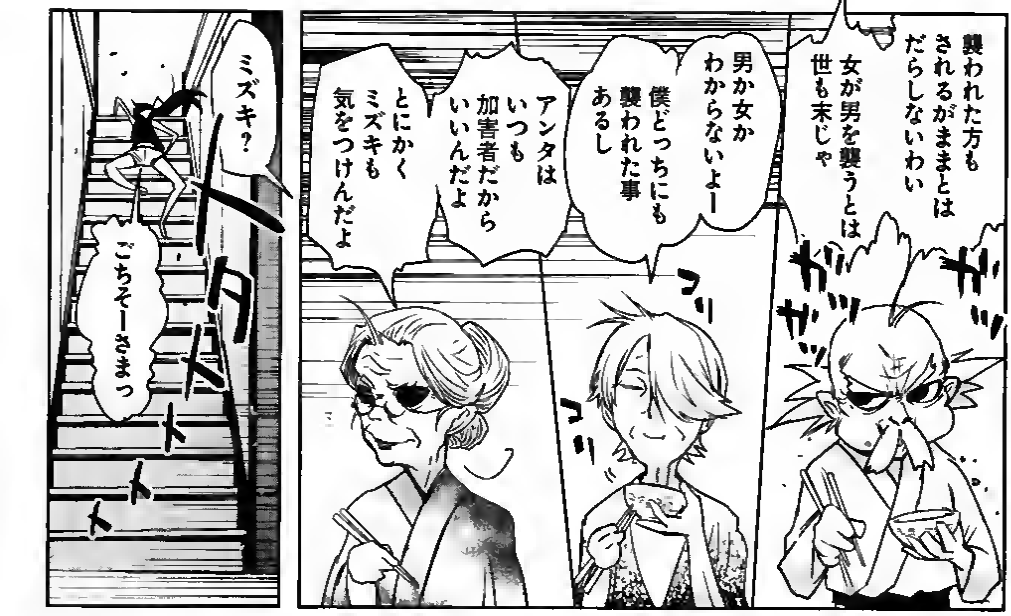
す……
はい！
何でしょう！

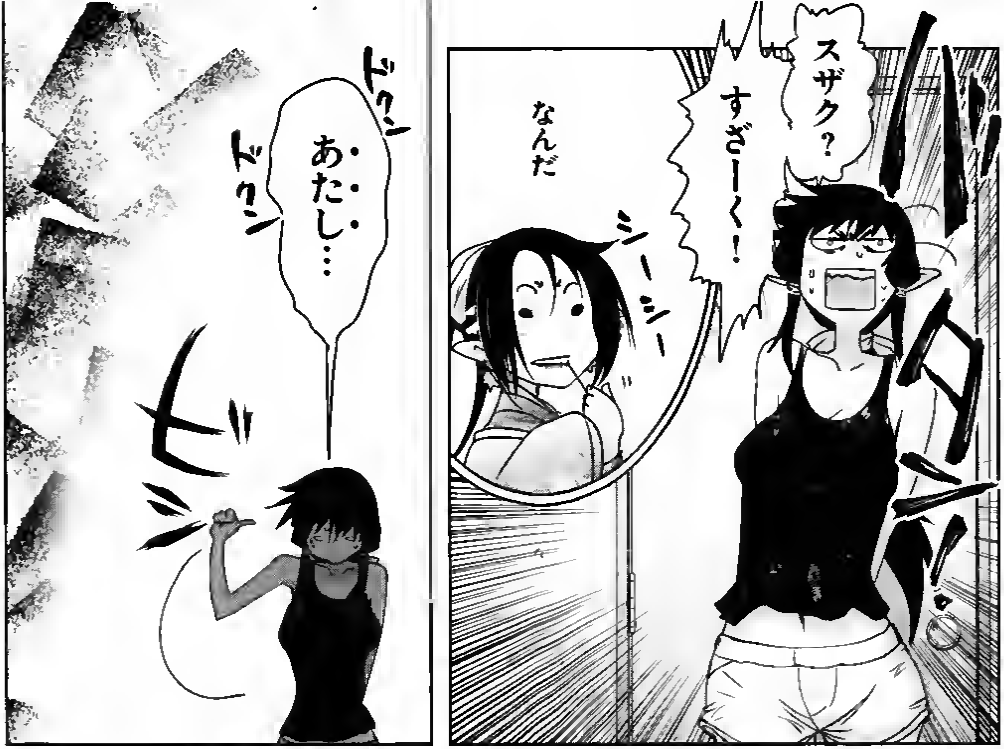
今の音は
何か？
元気な
祖父母でして…
玄関に出んのに
いちいち
ポン刀
ひっさげんじゃ
ないよ
このボンクラ！
いつもの
チンピラかと
思うたんじゃい！

ええと…
何か用で…
いえ
このあたりで
昨晩 変質者が
出まして
注意を呼びかけて
回っているのと…
あと不審者などに
心当たりがないか
聞いて回って
いるんです

痴漢でも
出たんですか？
はあ…まあ
そうらしいん
ですが…
らしい…？
イヤ〜

被害者が
男性の…それも
中年の方で…
珍しいというかその…
何も盗むでなく衣服を
脱がされただけなので
強盗ではなく
変質者ということに
なっているんですが…
いや自分も
赴任以来初めてで
世の中いったい――


襲われた方も
されるがままとは
だらしないわい
女が男を襲うとは
世も末じゃ
男か女か
わからないよー
僕どっちにも
襲われた事
あるし
アンタは
いつも
加害者だから
いいんだよ
とにかく
ミズキも
気をつけんだよ
ミズキ？
ごちそーさまっ


スザク？
すざーく！
なんだ
シーシー
ドクン
あたし…
ドクン

昨晩何か
しなかった？
ぎくり…
夜中に抜け出して
通りすがりの
男の衣服を
剥いでおったな

何もしてないって
言ったじゃない！
吾はの

どうやら意識が
無かったとみえるが…
吾が思うに――
※イメージ映像は
モデルを差し替えています

ミズキ殿は
心の奥底で
危機を感じて
おるのでは
ないか？
※耐えられないので
イメージ映像は
モデルを差し替えています

喰わねば
消える――

あ

そ

ズーン

その事への
恐怖が無意識に
体を動かして
いるのでは
ないかと

※色々耐えられないので
イメージ映像はモデルを

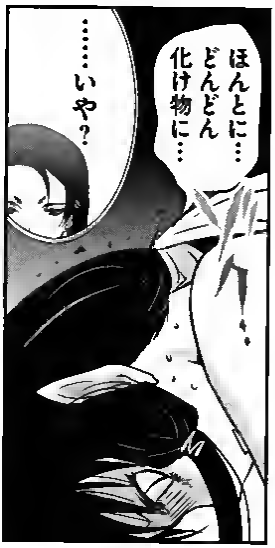
ビッ

ドキドキ

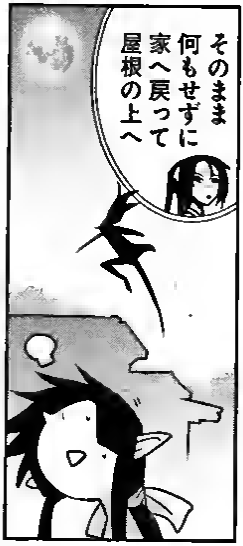
ギャ――ッ！

まるっきり変態じゃない！
なんで止めてくれなかったのよ！
止めるもなにも
ミズキ殿が時を喰らうのはミズキ殿の自由であるし権利であろ
生きるために喰らうのは悪い事かえ？
生物は生物を喰らうものであろうに
バイオスフィア
地Q
いやそんな深遠でキリがない話はいいから…

あたし…
ガクン…
食べたんだ…


ほんとに…どんどん化け物に…
……いや？

暫し戸惑うたように立ち尽くしたと思うたら……
ドキドキ


そのまま何もせずに家へ戻って屋根の上へ

よかった……
ギリギリ
理性が働いたのね
いや
あれは単に――
んー
ウシ
喰い方がわからず
途方に暮れた体で
あったな
あそこまで
剥いておいて
勿体ない
？
？
吾が喰らい方を
指南して
進ぜようか？
それって
喰えるように
なったら歯止めが
利かないって
ことじゃない！
ポリ
ポリ

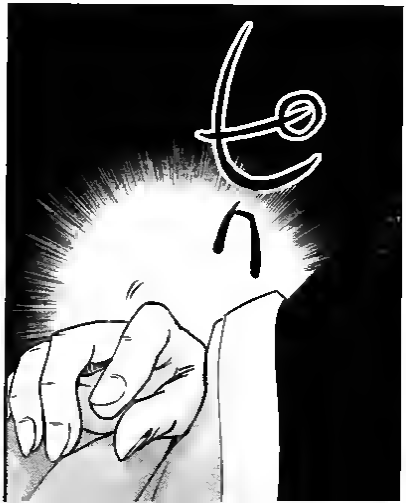
何故吾らが見張らねばならぬのだ
ファ…
ポシ
ポシ
何故なのでしょうか？

頼むから止めて！
犯罪なの！警戒されてるの！

運良く目撃されなかったからいいようなものの
こんな目立つ姿見られたらあっという間に捕まっちゃうわよ！
そうなったらスザクも困るでしょう？
ふむ…

確かに無意識のミズキ殿は手際が悪い
忠告しておくが襲うより襲わせた方が遙かに楽で安全だぞ
向こうから人目を避けてくれる
ファン
いいからそういうのは

何故ミカサ殿達の手を借りぬのだ
ゴゴゴゴ
お姿ちゃん達を無意識に…襲っちゃったら…立ち直れない
やれやれ…吾ながら難儀なものにつかまってしもうたな


ヒヘ

……む？
むむ
来おったな…
ミズキ殿！
ミズキ殿！
起きよ！
カマド！
……て
おい
ゴゴゴ
ベピ

……
吾にどうせよと
いうのだ
クンッ
姉様！

あたし……
やった？
うむ
窓から
出て行こうと
しておって…
姉様！
臭うであるのです

む…
まことか
カマド
何の話？

ミズキ殿
少々体を貸して
くれぬか
…許すけど…
なんで？
問題の解決に
なるやも
しれぬ
ほんとに？
え…
迦れ
カマド
はいでございます！
タッ
トーッ

ちょ…
なっ
あわわわ！
何を驚く
ミズキ殿も
無意識で
やっておったぞ？
うわ…
少し…
気持ちいいかも…
ふふん♪

ここって…
駅のそばの
マンション？
てベランダから
ちょっと！
住居侵入！…
大丈夫だ

カマド
開けよ
あーい
?!
…?

ここで
間違いなく
ございました
ですればー
ガラ
うむ
どうやって
中に…

ここに何か…

ふむ…
ペアアイ
ぎゃあああ
落ち着けミズキ殿
ゆでうるさい
ただの死体だ
ただだだ！
ひッ ひッ
死ッ！……
ひーッ
自殺？
首つり坂?!
なんの木?!

救急車！
警察！
手遅れだ
落ち着けと
いうに
カマド
はいな
ですー♪
ハキ
ハキ
ゴトッ
ひいっ！
何して…
まさか…
ギャーッ
死体に！……
グイ
まったく…
気の毒にのう…
ナニアンダッ
ナニアンダッ
ナニアンダッ

息が…
何したの？
スゥ…
ほんの少し
時を戻した
死ぬ直前まで
スーッ
スーッ
え…

た…
助けたんだ…
ホ…
助かるんだ
この人…

なんで死んだのか
知らないけど…
よかった…
そうか…
あたしのときも…
こうして…

助けた後…

まったく
気の毒にのう…
――!

待って
スザク！

まさか…
食べる気!?
然り

助けたのに
食べるなんて
ひどいじゃない!
おかしな事を言う…

この人間は
死んでいたではない
何が変わるのだ
気の毒だって
言ったじゃない!

これだけの
時を残して
終うたのだ
気の毒で
あろう?

せめて
無駄にせぬよう
喰うのが餞と
いうものだ

わ…
わけ
わかんない…

わかるわけがない—
そうだ…
人間じゃない

いや！
体を返して！
？
何故邪魔をする
アッゼッ
ドサッ
こうして時を喰らえば
ミズキ殿も
腹を空かせて夜な夜な
徘徊することも
なくなろうに
それとも消えて
しまいたいのか？
ムシ
食べるか……
消えるか……
ガブ。
ヒッ
嫌だ――

人を食べるくらいなら——
でも……
ミズキ殿…浸るのは結構だが
カマドが——
ポロッ
考える暇
無し

カマドには
困った癖が
あってのう
人肌を抱くと
寝入って
しまうのだ
やれ
あっそ…
住居侵入…
遺体損壊…？
そういう
問題じゃ
なくて……
最悪の夜を
更新して
気付いた事は——
早く…
早く人間に
戻らなくちゃ
あたし
こんなこと
できるんだ…
一番
怖いのは
死体でも
スザクたちでも
なくて
食べるくらいなら
消えるって…
はっきり
言えなかった
自分——

第六話／完

ゴトン
ゴトン
ゴトン
フム
OL行方不明?
近所だよね
怖いね

デスレス

DEATHLESS

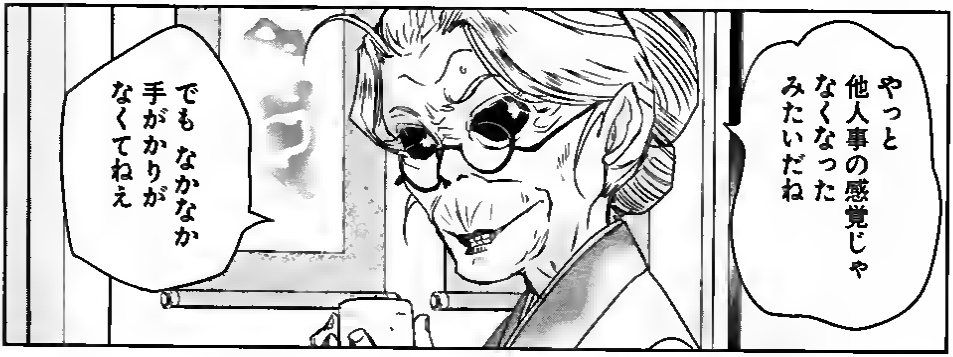
第7話 決めかねるひと

——その闘いは

七日と七晩続いている
疲れるよりも倦んでいる
とうの昔に飽きている

なにそのスペクタクル…
4
よかった…
家の布団だ…
ガバッ
トットイレっ
カマドさん！ほどいて～
ポヤ～
ミシ
ミシ
ガバッ
おはようミズキ殿。
お願いはやくーっ！
ミズキです…これはヘンな趣味とかじゃなくて
夜中に無意識に人を襲いにいかない為の苦肉の策です

お婆ちゃん
早く元に戻る
方法を探そ！
あたしで
できることなら
なんでもやるから！


やっと
他人事の感覚じゃ
なくなった
みたいだね
でも なかなか
手がかりが
なくてねえ

それより
アンタの言ってた
首つってた人てな
まだニュースにも
なってないね
まあモノが
消えちまったんなら
行方不明扱いだろうし
事件にゃなんないね
思い出したく
ない…
それでだ
スザクさんに
そンときの話で
聞きたい事が
あるんだよ

ミカサ殿
聞きたい事とは？
以前アタシらが
「条件に合わない」
とか言ってたね
そんときゃ
聞き流して
たんだが…
スザクさん達ぁ
無差別に人を
食べられる
わけじゃあなく
何か明確な条件が
あるんだね？
然様
聞いて
おきたいんだが
いいかい？
是非も
ないことだ
蝋燭は
ないかの
蝋燭？
以前似たような
会話をしたことが
あっての
ジジ…
そのときに
相手が例うた事が
判りやすかったので
同じ例えで語ろう

この蝋燭はミズキ殿だ
は？
のっぺりと地味な態だがまだ燃えはじめ…
成る程
このままならば長く火を灯すであろう
例えでなじられてる…
あっ
だが無頼な闖入者によって——
その炎は吹き消された
……
言いたいことはわかるよ
何もしなければこの蝋燭は何も照らす事無く終わる運命
だが吾はこの蝋燭にもう一度火を灯し…蝋燭は燃え尽きるまで煌々と周囲を照らす運命を取り戻した

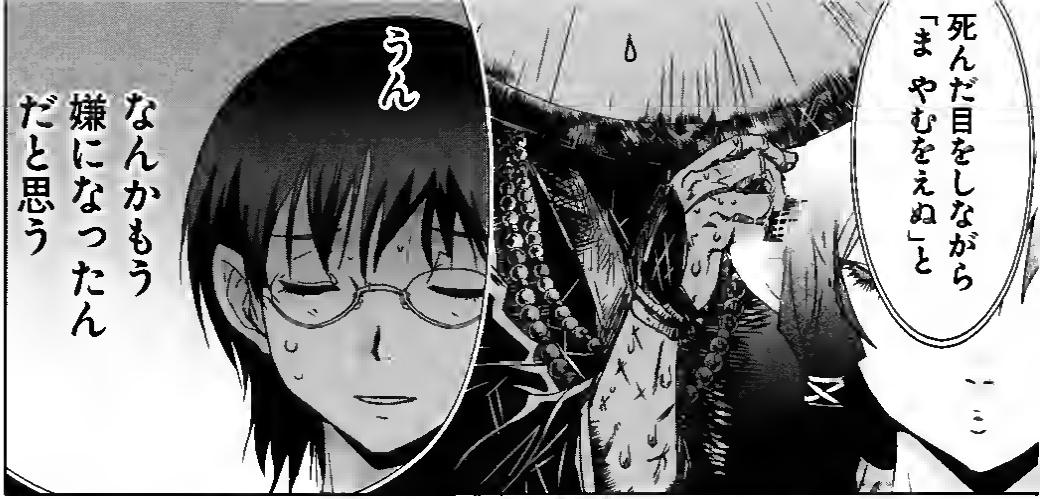
それを吾は
丸ごといただく
結局
殺すんじゃ
ない！

いや
蝋燭を消したのは
吾ではないし
蝋燭の運命は
変わっておらぬ
成る程ねえ
言わば
リサイクルって
わけかい
…廃物利用と
いうほうが
正しかろうな
いや
…あのね

廃物と
言うたのは例えだ
何を怒っておる
……詭弁だと思う

…かもしれぬが
これは「理屈」
ではなく
「約束」だからな
別にミズキ殿が
納得したり
縛られたり
する必要はない
確かに
わからないね
なんでそんな
面倒な「約束」
とやらに
縛られてんだい

隔世…何やら手強い坊主が因縁をつけて来おってのう
争うたはいいが幾日も勝負がつかなんだ…
あ……
あの夢……
泥仕合になってしもうていい加減面倒くさくなってな
吾らは人の枠に影響を及ぼさぬという約束を
コト…
この条件を持ちかけたのだ
坊さん納得したんだ…
どうかの
20分ほど下を向いてブツブツ独り言を言った挙げ句


死んだ目をしながら
「まやむをえぬ」と
うん
なんかもう
嫌になったん
だと思う

そりゃあ…
しかし随分と
狭い条件なんじゃ
ないかい？
うむ…
病死や寿命で
死んだものはだめだ
どのみち時が
残っておらぬ
七ユッ
ユッ

蝋燭でいえば
このようなものだ
ま
アタシらも
似たような
もんさね

条件に合うのは
運命を
変えられたもの
まあ大体 事故か
自殺か殺人で
殺されたものだな
ほう…
そんなもん そうそう
立ち会えるもんじゃ
ないだろうに

カマドがおるからな
あれにはそういう臭いがわかるのだ
言わば死の臭いとでも言おうか——
見かけと違って生臭い特技だなあ…
それでミズキの死を嗅ぎつけてここへ来たってわけだね
和やかに怖い話しないでほしい…
そして間抜けなこの有様よ
ああ約束した条件はもうひとつ…
「我々の同類」は喰ろうてよい事になっておる
スザクみたいなのが他にもいるの？
そういう意味ではない
じゃあ何よ？
他人の時を奪うもの……

「人殺し」だ

おう
今日は色男に
なっとるのう
抗争(でいり)でも
やらかしたか

道で
転びまして
お恥ずかしい

今日も懲りずに
地上げかい

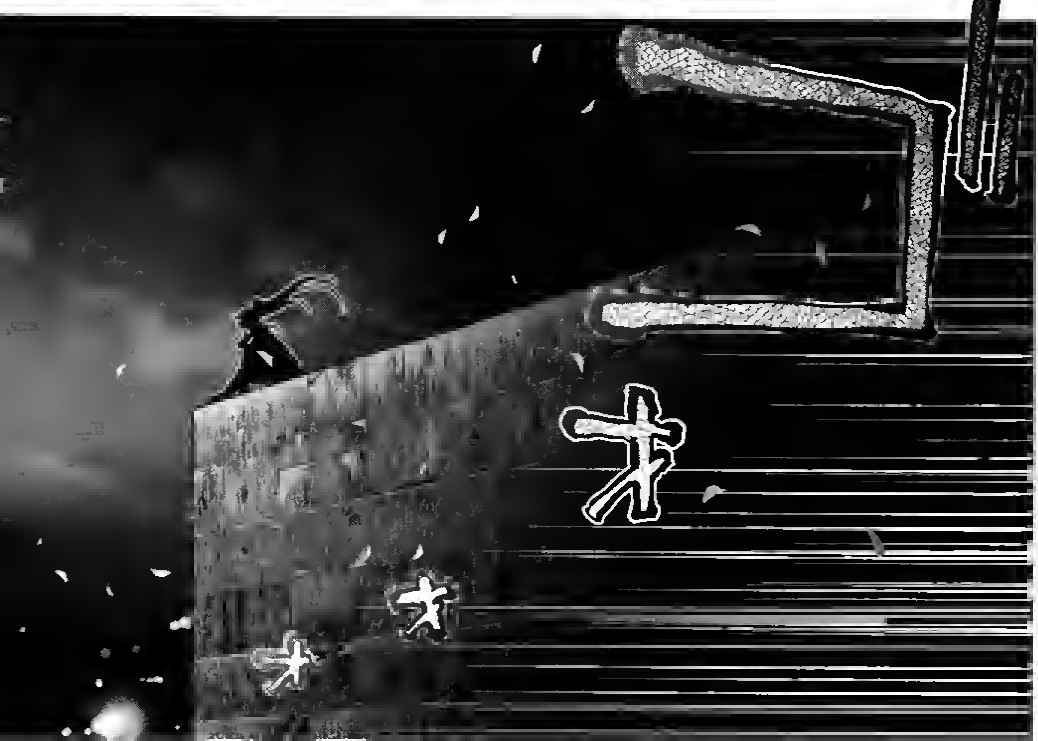
ヘラヘラ

いえ
わたくし宮森様の
営業担当を
外れる事になるやも
しれませんので
色々と至らなかった
お詫びとご挨拶をと
思いまして

ペコリ

おう！
せいせい
するわい！

安心せい！
誰が来たとて
ムダな事には
変わらんわい！


ォ
ォ
ォ

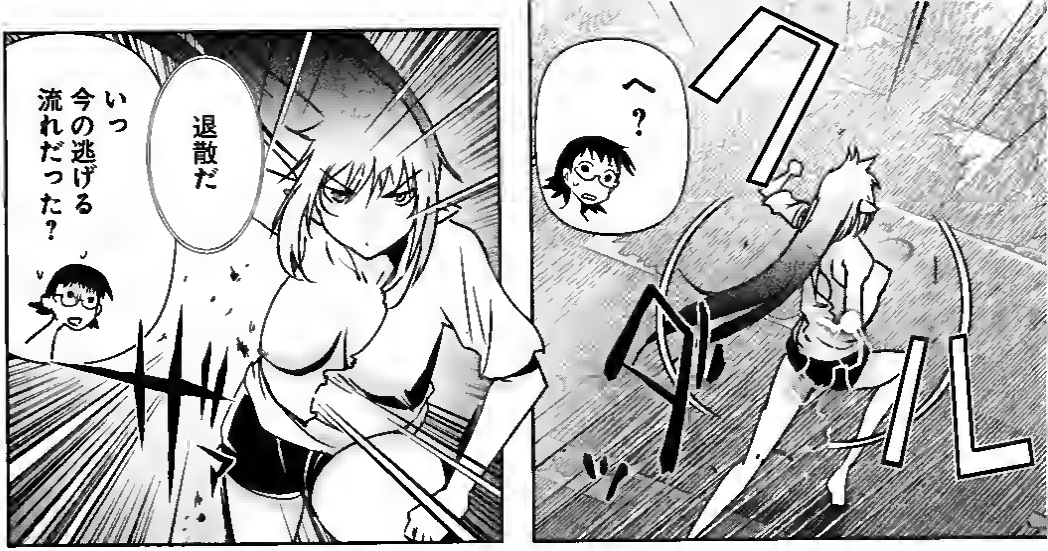
籠(こも)っておらんでよいのか
うん…眠れないしちょっと考え事…
ミズキ殿の葛藤も思うてみればわからぬではない
吾とて約束が無くともカマドを喰うのは最後の手段であろうしな

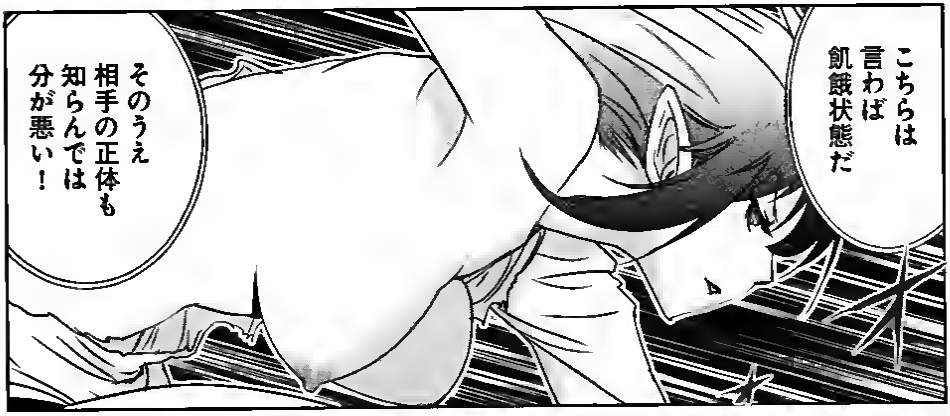
スザクたちが見境無く人を喰う化け物じゃないって事はわかったわよ
問題はあたし…
かまわぬぞ
へ？
別に強制する気はない
ミズキ殿が人を食うのが嫌ならばこのままここで消えるのも一興
……！
本気で言ってるの？
その先になんぞ知らぬ世界があるやもしれぬ
スザクってきっついあたし……何を言おうとしてた？
スザクに――

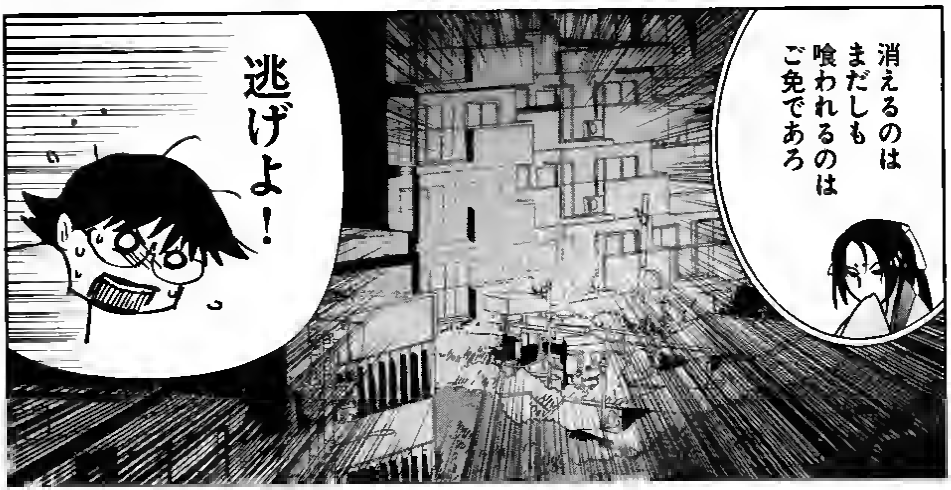
何か来る！
？
ぱちぱち。。
？
ゴゴゴゴゴ
痛！
シィッ
痛あいっ
すごい
痛い！
なにこれ？
ミズキ殿！

ひ！……
何これ！
消える！
消えてる！
あゆ
まさか…
喰われた！
代われ
ミズキ殿！
ゆっ許す！

長生きは
するものだ
カマト以外に…
本物の同類と
出会えようとは
洒落た挨拶の
礼をせねば
ならぬのう
スザク…？


へ？
ダル
退散だ
いっ
今の逃げる
流れだった？


こちらは
言わば
飢餓状態だ
そのうえ
相手の正体も
知らんでは
分が悪い！

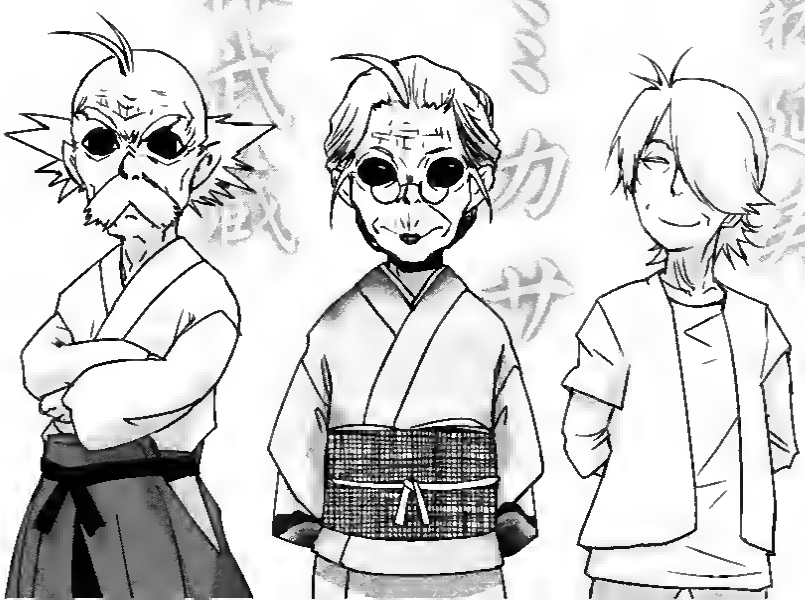

消えるのは
まだしも
喰われるのは
ご免であろ
逃げよ！

……でも待って！
ウチに逃げたら
お婆ちゃんたちが
危な……
案ずるな
？
思うた通り…
敵はここには
入って
これぬようだ
よかったけど…
どうして？……
結界か…
補給をせねば
ならぬ
カマド！

ミズキ
いいかい
うん……
お婆ちゃん…
おいで ミズキ
話がある
みんな
心配かけて
ごめん…
こりゃあ
家族みんなの
問題さ
その
襲ってきた
相手の事も
心配だけどね…
その事もあって
皆の意見が
一致した所だ
？

言いにくいんだけどねミズキ…
あんた…
時を喰う練習をしな
いーじゃんべつに
アタシたちは聖人君子じゃあない最低で身勝手なジジババさ
アンタを元に戻したいが…それまでにアンタが消えるなんざまっぴらだ
ゴゴゴゴ

第七話／完


宮森進詩
宮森ミカサ
宮森武蔵

デスレス

DEATHLESS

水城です

第8話　巻き込むひと
今日も流されてます

とまあ
このような次第よ
これカマド寝るな練習にならぬほれミズキ殿も喰ってみやれ
「ほれ」って言われても
体全体で呼吸をするように
いや胸のあたりに何かを集めるような
腹と胸の間のあたりで水を飲むような——
聞けば聞くほど混乱するから！
わかるか
何をしてるのかというと——
人を喰う練習です

人を喰えって…
冗談だよね
お婆ちゃん…

必要なのは……
誰のせいでもない
現実ってやつに対する
アンタの覚悟さ

アタシたちゃ
外から事態を
調べてる
ミスキは
今のアンタ自身を
ちゃんと知る
ところから
始めるんだ
スサクさんに
色々
教えてもらいな

吾に異存は
ないな

待って！

あたしは…

あたしは――？

あたしはどこかで
望んで……
言い訳を探して
なかった？

お婆ちゃん達の
後押しをしてくれて
ほっとしなかった？

——あたし……
ダメだな…
え？
なに？
あわわ…
落ち着け
今の感覚だ
ゆっくりと

こう？……
うむ
その調子だ
何度か
覚えてる…
この感覚…
そうだ
ミズキ殿は
幾度か勢いで
喰ろうておる
その感覚を
思い出せ
あ…？
ア

そこまでだ
ミズキ殿
熱っ…
何こ……
ハッハッハッハッハッ
あたし…
できたの？
おっかな
びっくりでは
あったがの

「できた」って
何よ！
何言んでろのあたし！
その感覚を
覚えておけ
今ので凡そ
一月分ほどの
時をカマドから
喰ろうたのだ
そんなに？
カマドさん
大丈夫？
まあ
この程度ならば
問題ない
カマドには
先の戦で
貯めておるからの
いくさ？……
ゾク！
どうした
ああ

気にするな
時を喰う際の
昂ぶりに慣れて
おらんのだろう
昂ッ……
わ――ッ！
まっ 前から言おうと
思ってたけど
なんで裸になるのよ！
裸になるのが
肝要なのではなく
肌を多く触れて
おらんと……
うむ
いい機会だ
説明では
判り辛かろうし
試してみればよい
こう？
そうだせめて
手のひら一杯程度は
触れておけ
？
ペタ
先程の要領で
ゆっくりと――
えーと…
ポロ
ヌ

…ガラスの割れる音？

水城の声だな…
悪化してんすか？
ヒョーキ
そうみたいでね
おおっ
なんだ
なんだ？
ネコだよ
ネコ
ニャー
ニャ
おおっ
大物だー
それはともかく…
ネコ…
最近
多くてね
スゲー

松川
出直した方が
よさそうだ
ちぇー
ショボくれてたら
活入れてやろーと
思ってたのに
普通の病気なら
頼むんだけどね
なんで
松川(マツ)と
大町(マチ)が
いるの！
ゼェ
ゼェ
バーちゃんが
そう言うなら
シャレんなんないかー
講義のコピーです
水城さんに
渡しとくよ
代返の利く授業は
なんとかしていると
お伝え下さい
わざわざ
来てくれたのに
すまないね
気遣いの
来訪では
ないのか？
うん…
お見舞いに
来てくれたんだ…
ちなみに…
ゼェ…

どうであった？
ヒルッ
指が千切れたかと思った……
うむ 得心がいったか
大きく肌を重ねておかぬとこうなる
吾とて好きで脱いでおるわけではないわ
単に痛いのが嫌いなのだ
色々つっこみたいけど…
これはちょっとシャレになんない…
キュ～
キキ
ミ

かなり強引に
持って行かれた
からの
あの時と
同じ…

うむ
こんなにじゃ
なかったけど
この痛み…

ねえ…

喰われる方も
痛いんだ…
いや…
喰う側より
遥かにマシだぞ
カマドを見ろ
反応して
おらぬだろう

でも
あの時も
かなり
痛かったよ？
あちらは
想像を絶する
苦痛であった
ろうな…
なかなか
根性の据わった
相手だと
いうことだ
あ――

ぬかったぜ…
コピー一束忘れてるし
悪い大町（デカマチ）もっぺんー
悪いがこれ以上バイトに遅れるわけにはいかない
ナヤッ

早く言えよ誘っちまったよ付き合いいいなお前！
私も水城の見舞いに行っておきたかっただけだ
んじゃまた明日なー
すまないな
おもちゃに留年されちゃつまんねえもんなー

ピキン
姉様！
臭(にお)うたりです！
わっ

なっなに？
ズギッ
カマド！
あい！
すぐ近く
なのでして！

何が？
言ったであろ
カマドには
死の臭いが
判ると
死イ？
トン
トン
トン

この辺そんな
物騒なとこじゃ
ないのに
事故か何か
かもしれぬ
マドさんなにそ

案内せいカマド
あいでいす
服着て！服！
って何しにいくの！
喰うに決まっておろ
なんだ腹を据えたのではなかったのか？何のための練習なのだ
ええと…
キョトキョト
？

このあたりだったりするです
へ？
家の敷地の目の前ではないか
このような目と鼻の先で？……
コロコロ
ぼうし…

第八話／完

次巻予告
ヘタレ
不幸
他力本願
優柔不断
…でも怒っていいところ!
デスレス 第二巻
2011初春発売予定!!

デスレス

第一巻

STAFF

・制作・

六道神士

・作画補助・

木林田 ウナム

たけぽんG

長 老

春夏秋冬 鈴

・担当編集・

筆谷芳行

（敬称略・50音順）

●コミック479●

【YKコミックス】

デスレス①

平成22年10月21日 初版発行

著者 六道神士

©KOUSHI RIKUDOU 2010
発行者 筆谷芳行

印刷所 大日本印刷株式会社

製本所 星野製本株式会社

ヤングキング 平成22年第9号～第12号,
第14号～第17号 掲載作品
連載担当／筆谷芳行

発行所 株式会社 少年画報社

〒101-8388 東京都千代田区三崎町3-3-12 電話 03(3262)3501

HomePage http://www.shonengahosha.jp/

造本には充分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い)や印刷不良の場合は、ご購入になられた書店・小売店名をご記入のうえ、小社『販売部』宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。但し、店頭事故本や古書店でご購入の本は小社ではお取り替えできません。
出版物の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を無断で複製・上映・上演・放送・データ通信する事はかたくお断りいたします。

ISBN 978-4-7859-3479-8

Printed in Japan